NTT SMILE ENERGY

工事店様用

全量買取向け

ZMPRS
エコめがね
モバイルパック
（パワコン接続タイプ）

［太陽光発電　遠隔モニタリングサービス］

施工・取扱説明書

この施工・取扱説明書は、モバイルパックRS（パワコン接続タイプ）
の施工・取扱方法について、説明しています。

はじめにこの施工・取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解のうえ、
正しく安全にご使用ください。

●施工に際して記載内容を守ってください。
●施工は電気の知識を有する専門家が行ってください。

目次

安全上のご注意/安全上の要点/使用上の注意 …… 4
施工・設定の流れ …… 8
本製品について …… 9

施工手順

システムの配線について …… 16
本体を設置する …… 17
計測ユニットに通信ケーブルをつなぐ …… 19
パワーコンディショナの配線・設定 …… 20
主電源ケーブルの配線 …… 25
フロントカバーの取り付け …… 26
電源の起動 …… 27
初期設定 …… 30
パワーコンディショナの動作確認 …… 34

取扱方法

表示部の見方 …… 36
疎通確認を実施する …… 38
パワーコンディショナを操作する …… 40
パワーコンディショナを交換・追加する …… 43

その他

メニュー遷移 …… 46
エラーコード一覧 …… 49
計測ユニットのソフトウェアのライセンス情報 …… 53

安全上のご注意/安全上の要点/使用上の注意

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。

⚠警告	**正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。**
⚠注意	**正しい取扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けるおそれがあります。**

※　物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明します。

	●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告
	●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
	●感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告

⚠ 警告	
	本装置は、幼児の手の届かないところに設置して下さい。 感電による傷害が起こる可能性があります。
	本装置に発火物を近づけたり、可燃性ガスを含むスプレーを吹き付けないで下さい。 発火・爆発のおそれがあります。
	本装置にぬれた手で触れないでください。 感電による傷害や機器故障のおそれがあります。
	本装置を分解・改造しないでください。 感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。電波法でも禁止されています。
	本装置を配線する際は、本装置の主電源を必ずオフにしてください。 感電による傷害が起こるおそれがあります。
	サーキットプロテクタは、線間電圧による感電の保護はできません。 2本の電線を握ると感電し、漏電動作はしません。

安全上のご注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

⚠ 注意	
	本装置の設置は電気設備技術基準、内線規程に従い、第1種または第2種電気工事士が行ってください。 感電・火災の恐れがあります。
	本装置の取付けは、十分な強度のある壁面の平坦な面に確実に固定してください。 落下し、機器の故障やけがの原因となるおそれがあります。
	サーキットプロテクタの端子ネジは標準締付トルクで確実に締付けてください。 発熱・発火の原因になります。5年に1回程度、端子ネジの増締めをお願いします。
	強酸、有機溶剤、火の近くなどの環境下では使用しないでください。 故障の原因となるおそれがあります。
	本装置を、洗面所、脱衣所、作業場、調理場などで湯気の当たる場所、もしくは湿度が25 ～ 95%RH 以外のところに設置しないでください。 焼損のおそれがあります。
	扉を確実に閉めてご使用ください。 雨水などの侵入により内部機器を故障させるおそれや、風などによる扉の破損、脱落の原因になります。
	本装置を振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれがあるところに設置しないでください。 落下により怪我をするおそれがあります。
	穴加工およびノックアウト加工をする際は、突起やバリをやすりなどで確実に除去してください。 配線を傷つけたり、けがの原因となります。
	● **本装置の清掃は、乾燥した柔らかい布で行ってください。** ● **ケースの清掃には、有機溶剤（シンナー、ベンジン等）、強アルカリ性物質、および強酸性物質を使用しないでください。** ケースの変色や機器が故障するおそれがあります。

安全上のご注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので、必ずお守りください。

- 本装置を廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則等に従ってください。
- 本装置を廃棄する場合は、専門業者に依頼してください。
- 本装置に発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、本装置の主電源（ブレーカ）をオフにしてください。
- 本装置は、垂直な壁、もしくはポールに確実に固定してください。
- 本装置を押入や階段下など、通風を妨げるような場所に設置しないでください。
- サーキットプロテクタへの配線は、圧着端子（M4）を使用してください。
- 振動、衝撃の影響が大きいところには保管（輸送を含む）しないでください。

使用上の注意

- 本装置は、NTTドコモ FOMAサービスエリア内でご使用ください。
  FOMAサービスエリアは以下のサイトでご確認いただけます
  https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/
- 本装置は静電気によって故障、破損することがあります。本製品に触れる前に身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 本装置は計量法に定める指定機関が行う検定に合格した特定計量器ではありませんので、電力量の証明には使用できません。目安としてご利用ください。なお、発電量などの数値の表示精度はパワーコンディショナの性能に依存します。接続するパワーコンディショナの製品仕様書を確認してください。
- 本装置は以下のパワーコンディショナ以外に接続しないでください。
  最大接続台数は12台になります。（ただし同一シリーズに限る）
  <オムロン製>
  – KP□K / KP□K2 シリーズ
  – KP□M シリーズ
  – KP□R シリーズ
  （末尾に – Aのある形式が出力制御対応パワーコンディショナになります。）
- 本装置を以下のような場所で使用しないでください。
  – 塵埃（粉塵、砂塵、綿ホコリ、金属粉、オガ屑、ワラ屑等）の多いところ
  – 金属・金具類に覆われた場所、金属の壁への設置、金属の机の上、金属製品のそば、電話機・FAX・パソコン・パソコン周辺機器・テレビ・電子レンジ・IH製品の近く

安全上のご注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

●本製品を次のような場所に設置しないでください。
- 温度変化が激しいところ
- 潮風にさらされるところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有毒ガスのあるところ
- 浴室、脱衣所、台所等の水蒸気、油蒸気、結露のあるところ
- 直射日光の当たるところ
- 虫や小動物が多いところ
- 使用温度範囲以外のところ
- 使用湿度範囲以外のところ
- 標高2000mを超えるところ

● 保管する場合は、温度：-10～+50℃、湿度：25～85%RHで保管してください。
● ケーブルを強く引っ張らないでください。
● パワコン・計測ユニット間通信ケーブルは正しく接続してください。
● 複数台接続時のパワコン間通信ケーブルは正しく接続してください。
● 通信ケーブルのコネクタがはまっていることを確認してください。
● パワーコンディショナを複数台接続する場合は、同一シリーズのみで接続してください。
● 他機種のメンテナンスツールを使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
● 通信ケーブル（別売）は指定のものをご使用してください。

施工・設定の流れ

システム配線について確認します（P16）

↓

モバイルパック本体を設置します（P17）

↓

通信ケーブルを配線し、パワーコンディショナの設定を行います(P19)

- パワーコンディショナのユニットNo.設定(P20)
- パワーコンディショナの終端抵抗設定(P21)
- パワーコンディショナと計測ユニットの配線(P22)

必ず各パワーコンディショナのユニットNo.と終端抵抗の設定を行ってください。

↓

主電源ケーブルをモバイルパックに配線します（P25）

↓

計測ユニットの初期設定を行います（P30）

- 初期設定(P30)
- パワーコンディショナの動作確認(P34)

↓

初期設定の完了（P33）

施工結果記入シートにシステム構成情報を記載し、保管してください

本製品について

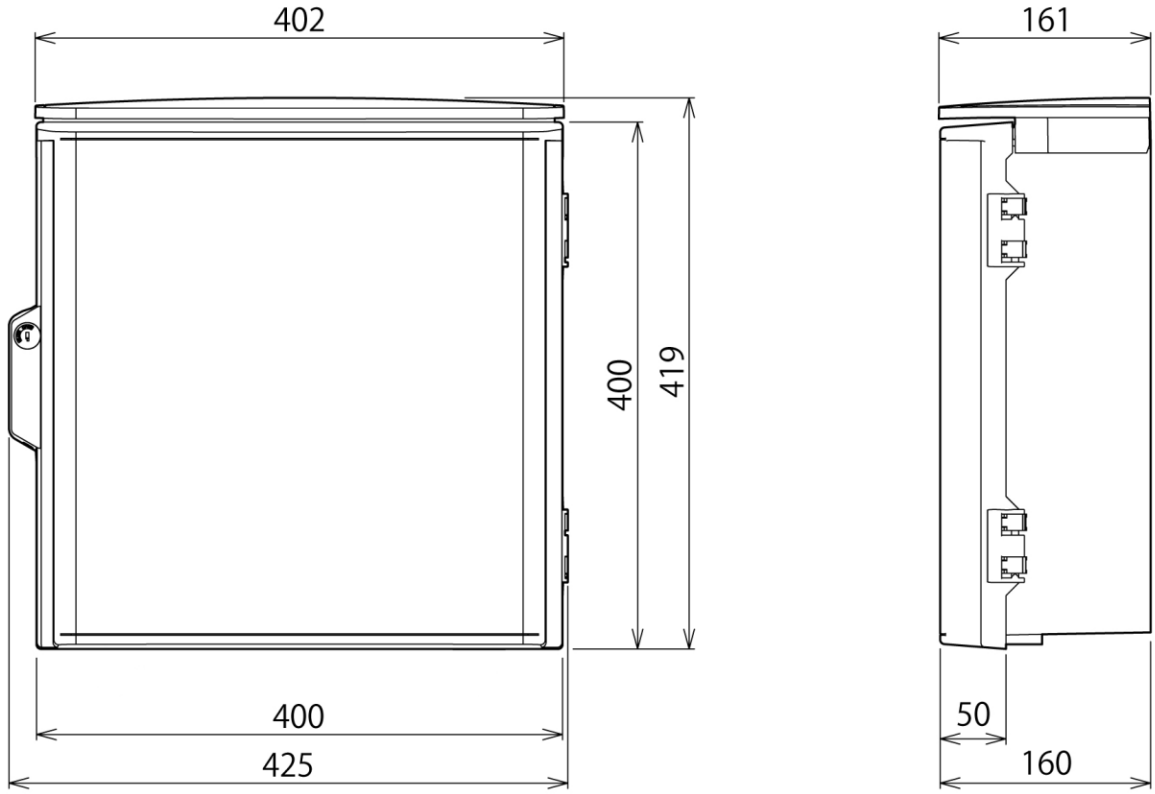
●仕様

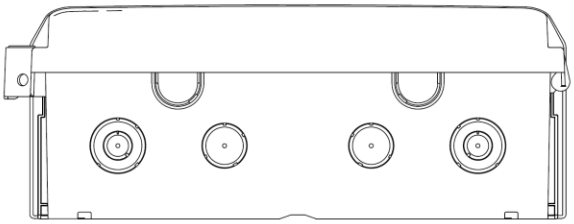
項目		仕様
■**型式**		ZMPRS
■**使用周囲温度**		-10 ～ +50 ℃（ただし結露または氷結しないこと）
■**保存温度**		-10 ～ +50 ℃（ただし結露または氷結しないこと）
■**使用周囲湿度**		相対湿度 25 ～ 80 %
■**保存湿度**		相対湿度 25 ～ 85 %
■**接続可能パワコン**		＜オムロン製＞ KP□K / KP□K2　シリーズ KP□M　シリーズ KP□R　シリーズ 末尾に－A のある形式が出力制御対応※パワーコンディショナになります。 最大接続台数：12 台（同一シリーズに限る）
■**電源**		単相 2 線　AC100V
■**消費電力［W］**	計測ユニット	最大 6.5W
	3G ルータ	最大 10W
	合計	最大 16.5W
■**入力容量［VA］**	計測ユニット	最大 11VA
	3G ルータ	最大 12.5VA
	合計	最大 23.5VA
■**保護構造**		IP44 相当
■**質量**		6kg 以下
■**外形寸法**		突起部除く　幅 400×奥行 160×高さ 419 mm （突起部含む 幅 425×奥行 161×高さ 419 mm ）

※省令改正に伴う新たな出力制御ルールへの対応について
本装置と出力制御機能に対応したパワーコンディショナを指定の通信ケーブルで
接続した場合に限り、新たな出力制御ルールに対応することができます。
出力制御を有効にする際は、本装置に搭載する計測ユニットのソフトウェアを更新する必要があります。
電力会社から正式な案内があるまでは、実施する必要はございません。

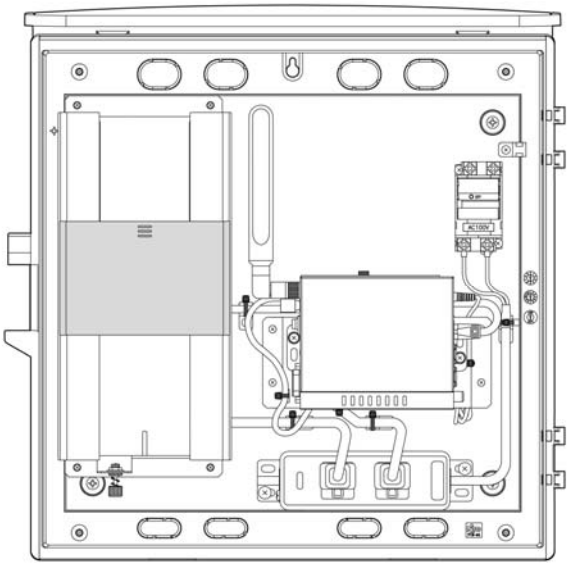
本製品について（つづき）

●本体の外形寸法



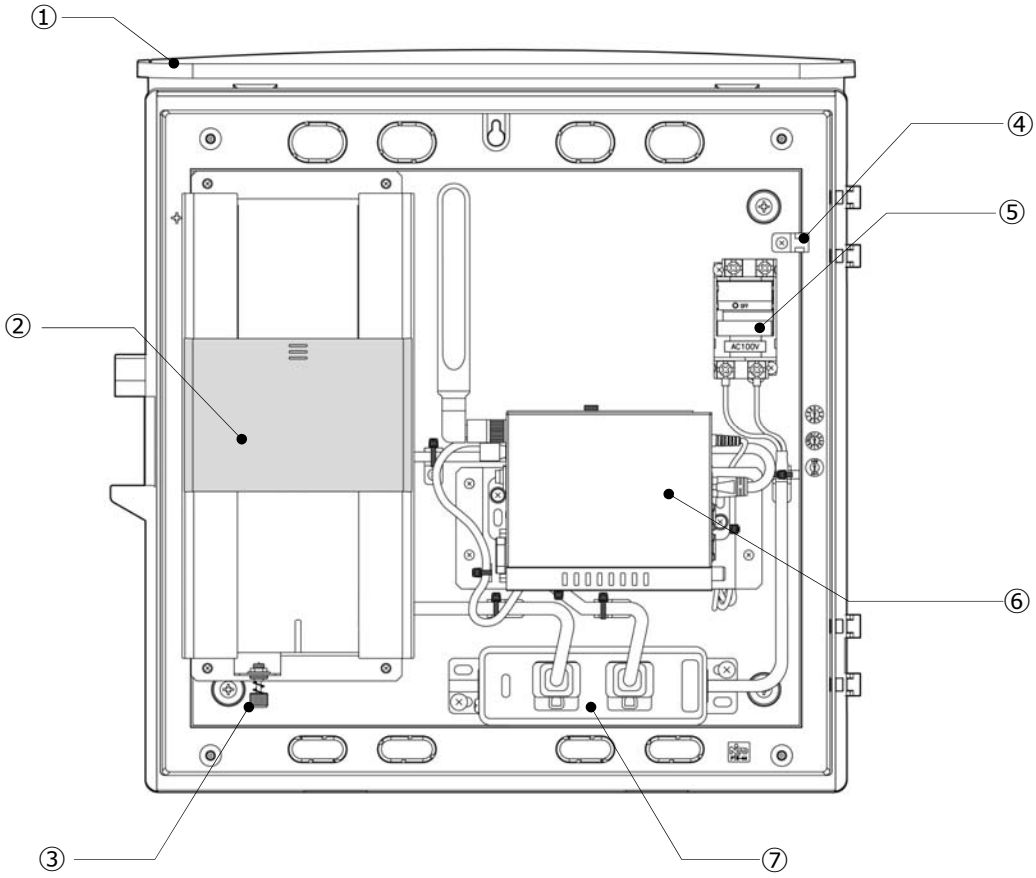


単位：mm



本製品について（つづき）

●搭載機器名称



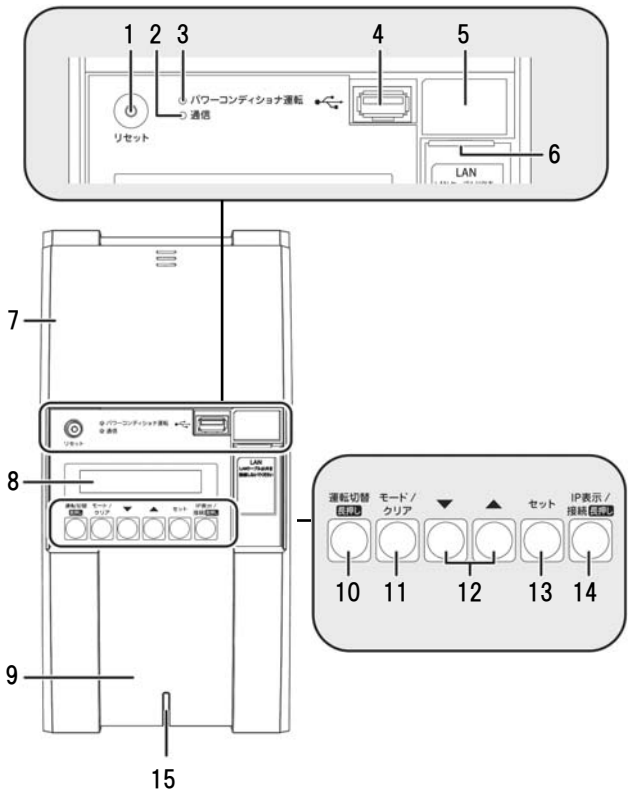
番号	名称	機能
①	プラボックス	保護等級：IP44 相当
②	計測ユニット（EIG センサー）	電力の計測を行います
③	フロントカバー開閉用ボタン	EIG センサーのフロントカバー開閉時に使用します。
④	アンカーマウント	電源ケーブルを固定する際に使用します
⑤	サーキットプロテクタ	搭載機器の保護用 電源ケーブルを接続します
⑥	3G ルータ	サーバーと通信を行います
⑦	OA タップ	搭載機器の電源分配用

本製品について（つづき）

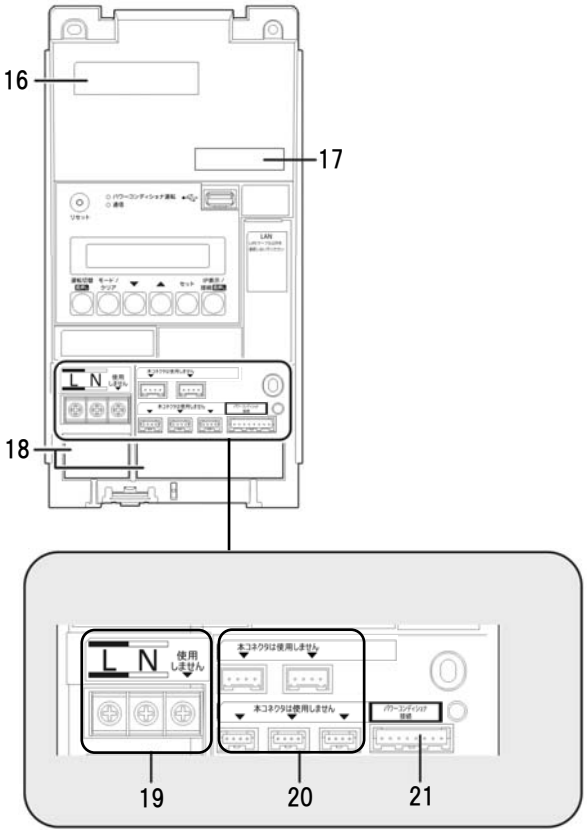
●各機器の詳細

■計測ユニット

スライドカバーを開けた状態



フロントカバーを取り外した状態



本製品について（つづき）

1　リセットスイッチ
計測ユニットを再起動します。

2　通信ランプ
使用しません。

3　パワーコンディショナ運転ランプ
パワーコンディショナの運転状態を表示します。
－緑色点灯：連系運転中
－橙色点灯：自立運転中
－赤色点灯：運転停止中
－消灯　　：パワーコンディショナが無応答時
●パワーコンディショナを複数台設置し、各パワーコンディショナの運転状態が異なる場合は、以下の優先順位で表示します。
①連系運転中（緑色点灯）
②自立運転中（橙色点灯）
③運転停止中（赤色点灯）
例えば、パワーコンディショナ３台を設置し、1台が連系運転中、2台が運転停止中の場合は、緑色点灯します。

4　USBコネクタ（Type A）
使用しません。

5　SSID、パスワード、有線MACアドレス、無線MACアドレス
機器固有の英数字が記載されています。

6　LANポート
3GルータとLANケーブルで接続します。

7　スライドカバー

8　表示部
発電電力やエラーコード、接続されているパワーコンディショナの運転状態などを表示します。

9　フロントカバー

10 運転切替ボタン
接続されているパワーコンディショナの運転状態を切り替えます。

11 モード/ クリアボタン
表示部の表示内容の切り替えとキャンセル操作に使用します。

12 ▼ / ▲ボタン
表示中の項目の選択に使用します。

13 セットボタン
表示中の項目の決定に使用します。

14 IP表示/ 接続ボタン
短押し：計測ユニットのIPアドレスを表示します

15 状態表示ランプ
計測ユニットの動作状態を表示します。
－緑色点灯：通常動作中
－緑色点滅：初期設定完了前
－橙色点滅：停電中
－赤色点灯：自動復旧が不可能な異常発生中
－赤色点滅：自動復旧の可能性のある異常発生中
－消灯　　：パワーコンディショナが夜間発電停止状態かつ、無操作時

16 製造番号
機器固有の英数字が記載されています。

17 センサーID
お客様固有の数字が記載されます。

18 配線口
配線時に使用します。

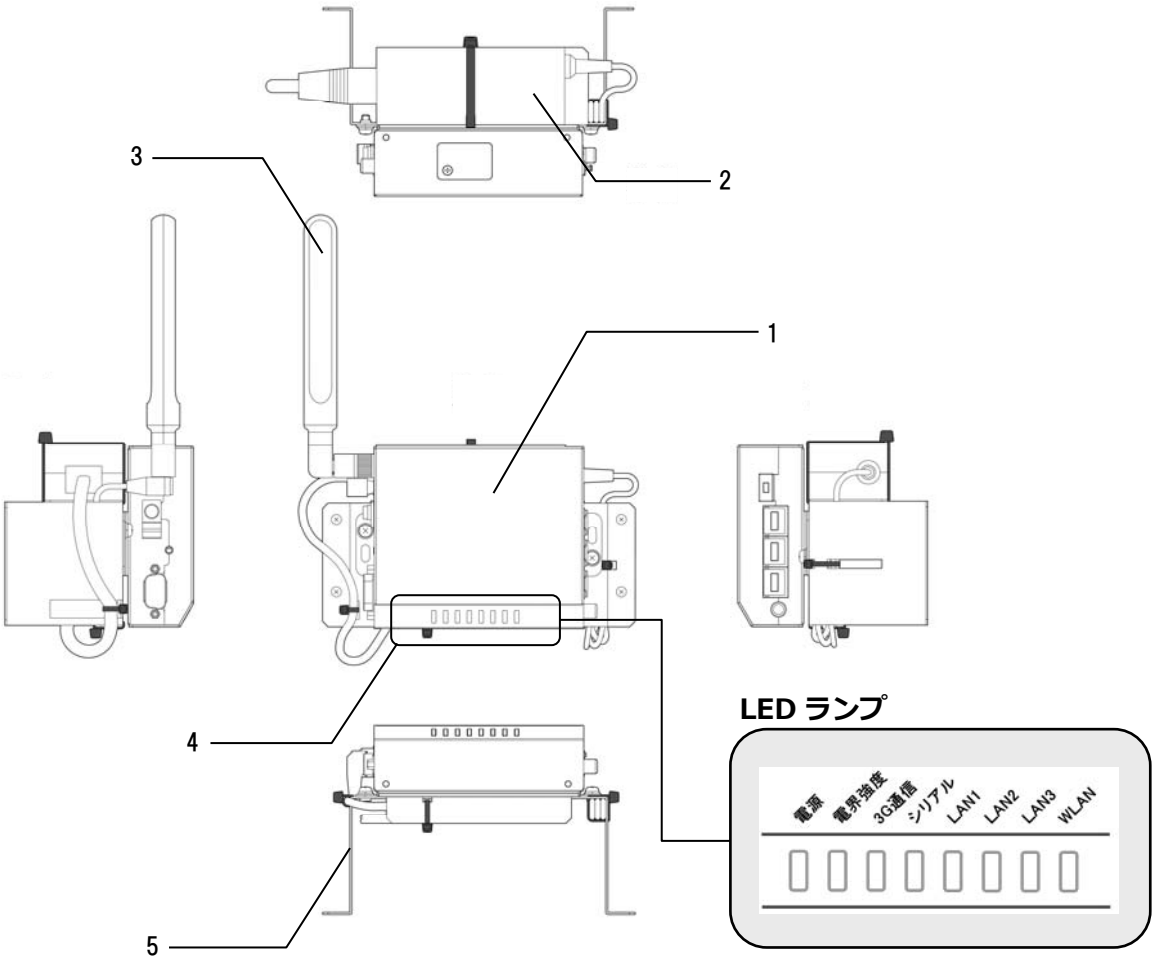
19 端子台[L/N]
電源ケーブルを接続します。

20 CTセンサ用コネクタ
使用しません。

21 パワーコンディショナ接続用コネクタ
パワーコンディショナと計測ユニット間で通信を行うためのパワコン・計測ユニット間通信ケーブルを接続するコネクタです。

本製品について（つづき）

■3G ルータユニット



1　3Gルータ本体
データ通信を行う装置です。

2　ACアダプタ

3　3Gアンテナ
3G網とデータ通信をおこなうアンテナです。

4　LEDランプ
3Gルータの動作状況を表示します。

●電源
－緑点滅：電源ON
－消灯　：電源OFF

●電界強度
－緑点灯：電界レベル5（強）
－緑点滅：電界レベル4
－橙点灯：電界レベル3
－橙点滅：電界レベル2
－赤点灯：電界レベル1
－赤点滅：電界レベル0（弱）

●3G通信
－赤点灯：圏外
－橙点滅：メンテナンス中
－橙点灯：ソフトウェア書込中
－赤点滅：装置内異常
－緑点滅：発信中／着信中
－緑点灯：通信中
－消灯　：通信なし

●シリアル
使用しません。

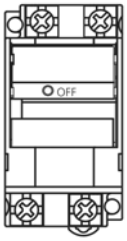
●LAN1、LAN2、LAN３（LAN3のみ使用）
－緑点滅：送信または受信中
－緑点灯：リンクアップ（送受信なし）
－消灯　：リンクダウン

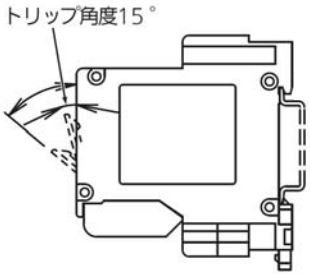
●WLAN
－消灯（使用しません）

5　ベース

本製品について（つづき）

■サーキットプロテクタ





型式	BACS201105
極数	2P
定格電流	1A
引外し機構	トリップフリー
過電流検出方式	流体電磁式
動作特性	中速形
端子構造	Ｍ４（圧着端子・電線直付兼用）
端子トルク	1.0～1.4 N·m

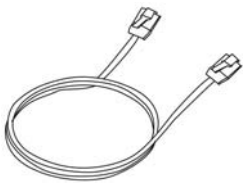
【使用注意事項】
- ●電線接続時、端子ねじは確実に締付けて下さい。
- ●温度、湿度、粉塵、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な周囲環境での使用はさけてください。
- ●施工時､機器内部に異物（電線クズや壁材など）が入らないようにしてください。
- ●サーキットプロテクタが動作した時は、原因を取り除いてからハンドルを「ＯＮ」にしてください。ハンドルの再投入「ＯＮ」後、即動作する時は負荷回路が短絡状態か、機器の異常です。電気工事店へ点検を依頼してください。

■通信ケーブル（別売）

●パワコン・計測ユニット間通信ケーブル

名称	長さ	型式
パワコン・計測ユニット間通信ケーブル	5m	KP-CH-B8VG05S
	15m	KP-CH-B8VG15S
	30m	KP-CH-B8VG30S

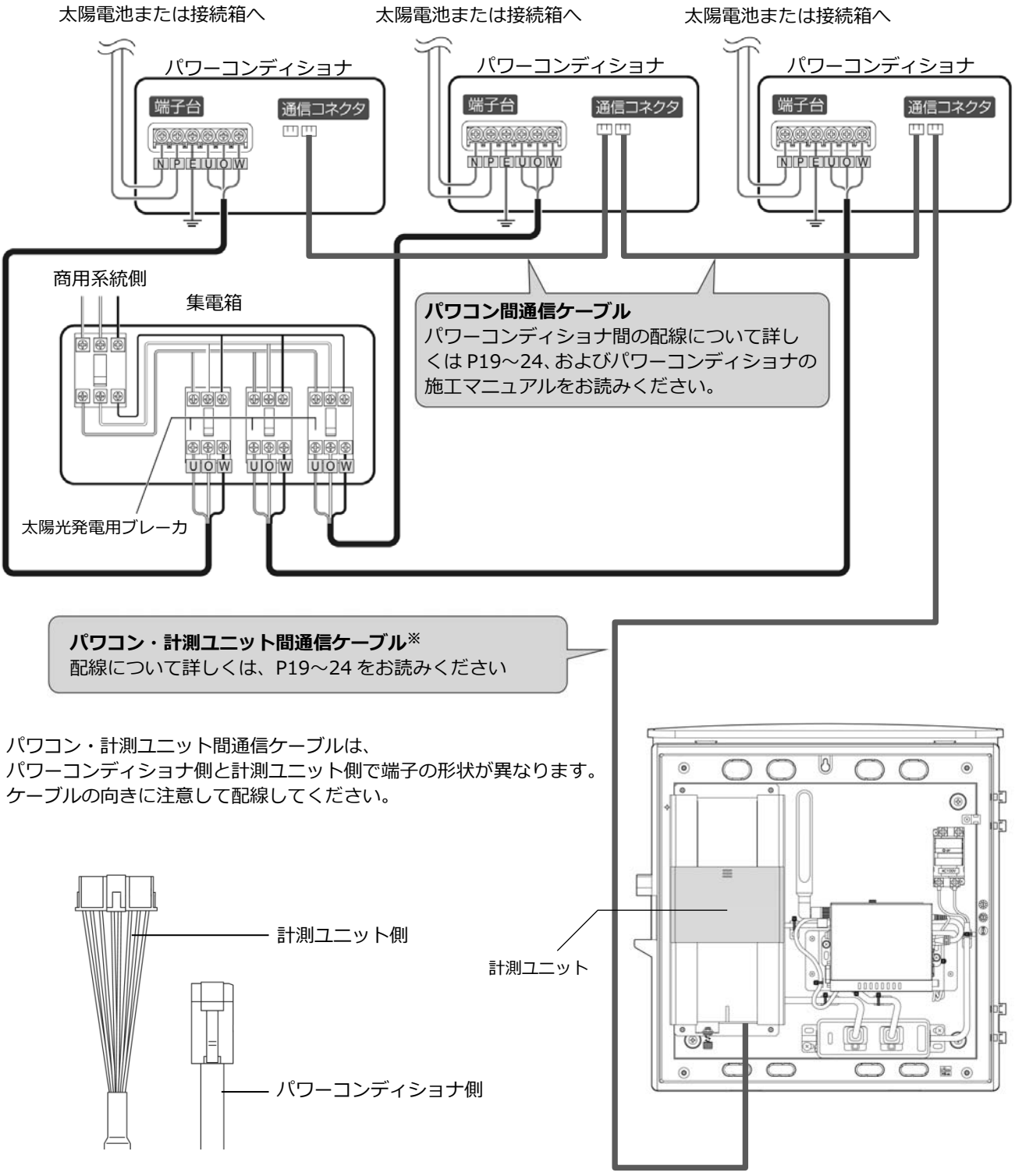
●パワコン間通信ケーブル

名称	長さ	型式
パワコン間通信ケーブル 	5m	KP-CH-A4VG05S
	15m	KP-CH-A4VG15S
	30m	KP-CH-A4VG30S

施工手順

システムの配線について

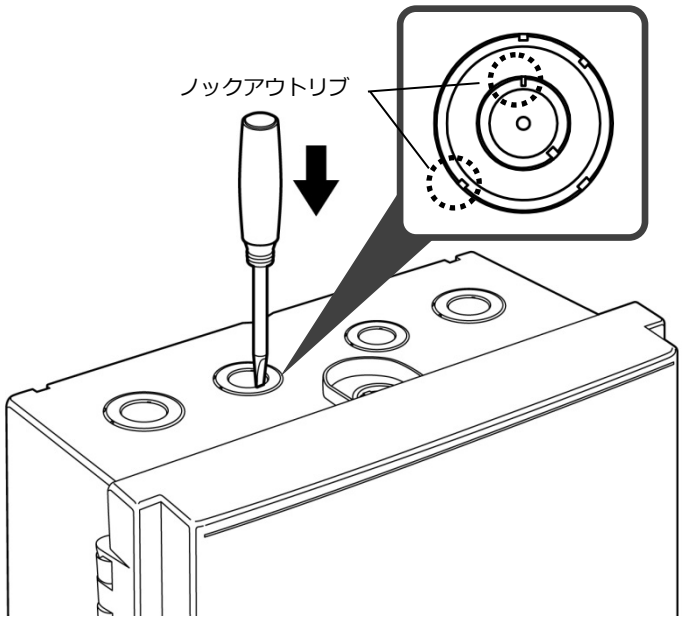
パワーコンディショナを 3 台（最大 12 台）接続するシステムの配線を示します。
（機器のイラストはイメージ図です）



※ パワコン・計測ユニット間通信ケーブルは、
パワーコンディショナ側と計測ユニット側で端子の形状が異なります。
ケーブルの向きに注意して配線してください。

本体を設置する

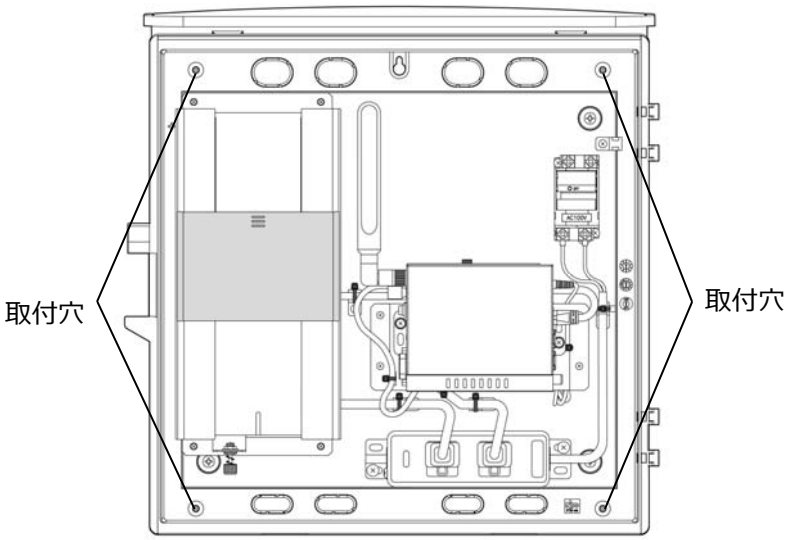
1 ノックアウトを使用する場合は、予めノックアウトを加工します。
マイナスドライバーを薄膜部のノックアウトリブへ当て、ハンマーで叩いてください。



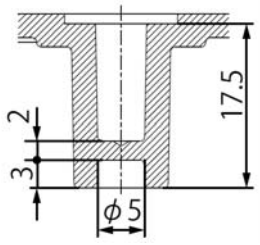
2 本体を取り付けます。

- 直取付けの場合
  本体の取付け穴をφ5 のドリルで穴加工し、直接壁面に取付けます。

直射日光が当たる場所、直接雨にぬれる場所への設置はお避けください。



取付穴断面図

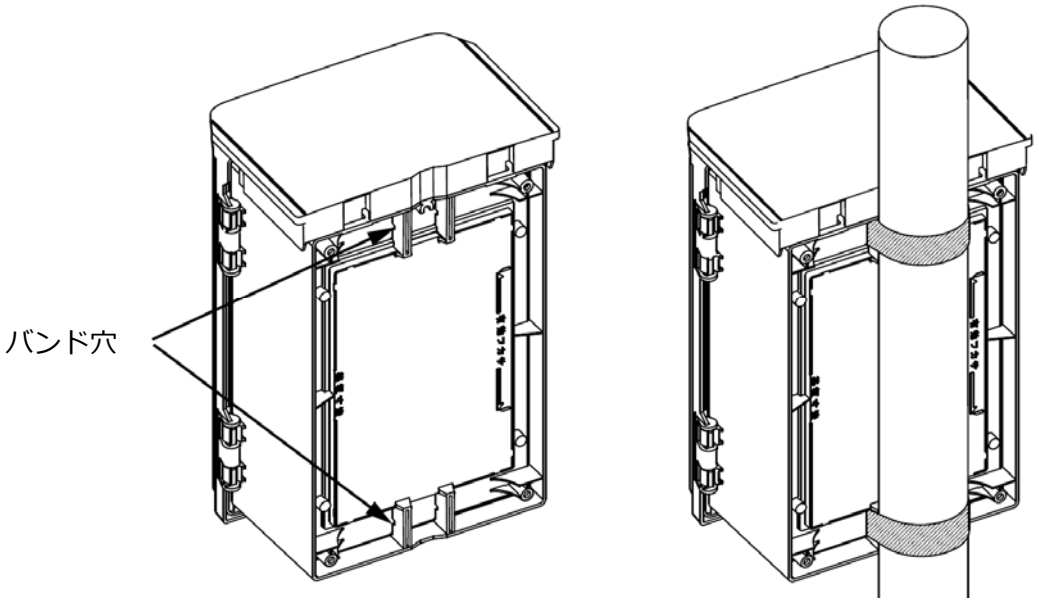


単位：mm

本体の設置する（つづき）

●ポール、円柱への取付けの場合
本体にバンド穴を設けてあります。市販のステンレスバンド（バンド幅 20mm 以下）を使用し、
ポールや円柱に取付けます。

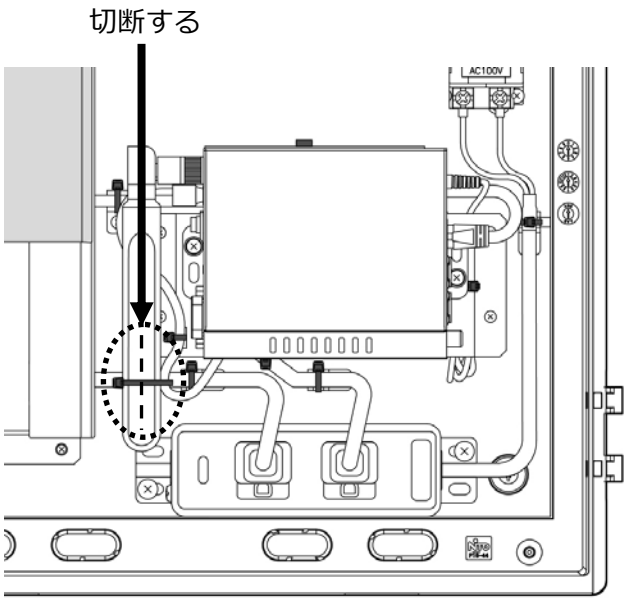
直射日光が当たる場所、直接雨にぬれる場所への設置はお避けください。

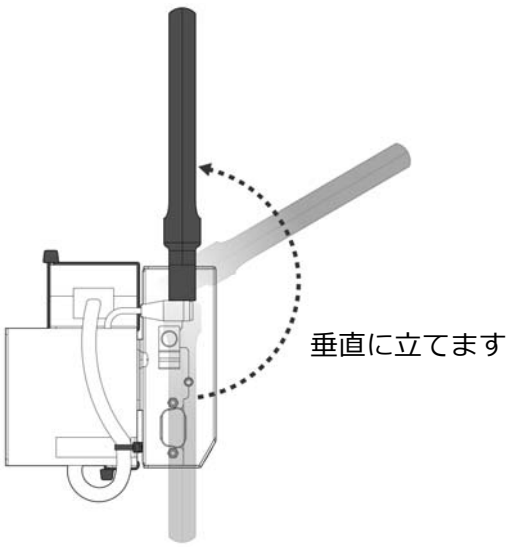


背面図　　**ポール取付例**

3 アンテナを立てる

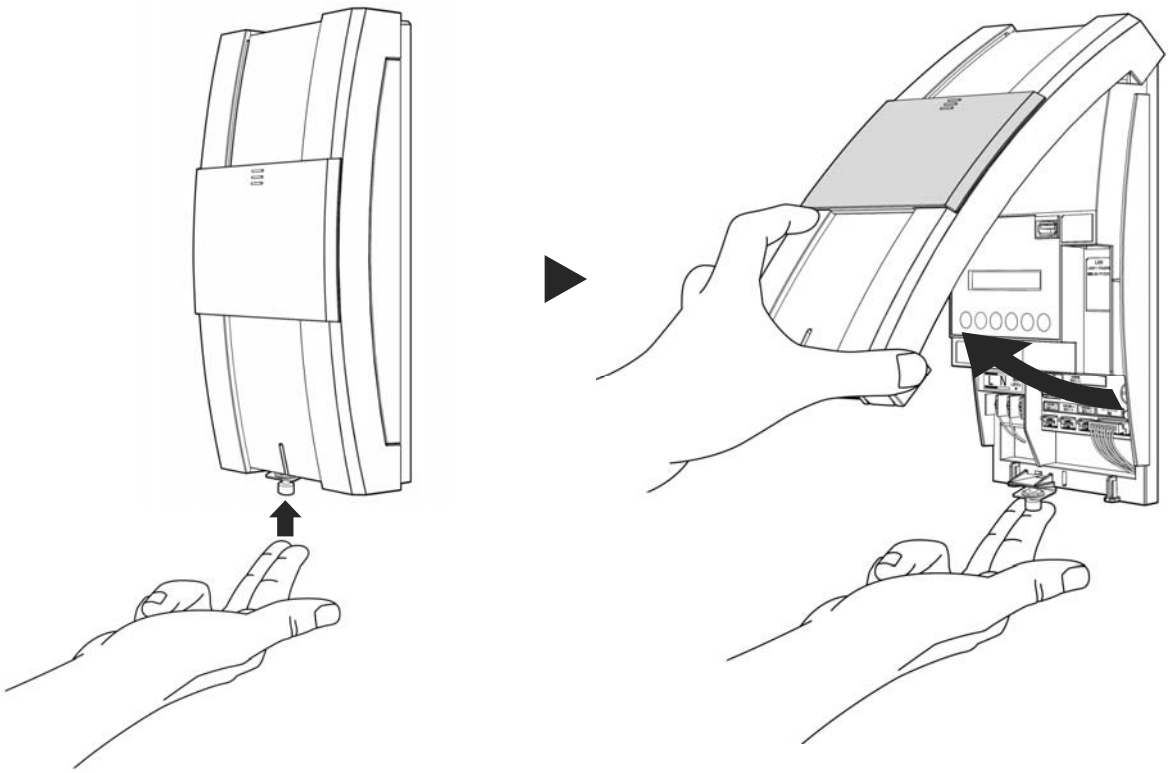
● 赤色の結束バンドを切断し、アンテナを上方に立てます。





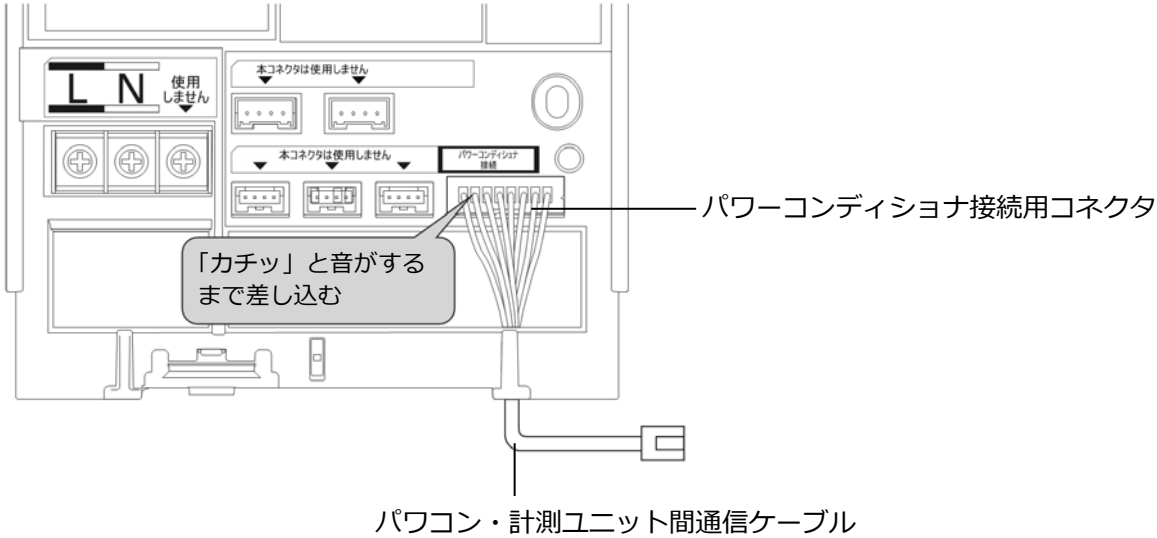
計測ユニットに通信ケーブルをつなぐ

1 フロントカバー開閉用ボタンを押し、フロントカバーを取り外してください。



2 計測ユニットにパワコン・計測ユニット間通信ケーブルをつなぐ。

● パワーコンディショナ接続用コネクタに接続してください。



パワーコンディショナの配線・設定

パワーコンディショナの形式によって、設定方法や通信ケーブルの配線方法が異なりますので、パワーコンディショナの形式を確認してから設定・配線してください。

●パワーコンディショナのユニット No.設定

パワーコンディショナを接続する場合は、パワーコンディショナにてユニットNo.の設定が必要になります。
パワーコンディショナ設定スイッチ（MODキー、ENTキー、ESCキー）を操作して、設定項目の「Unit」（通信ユニットNo.）を変更してください。

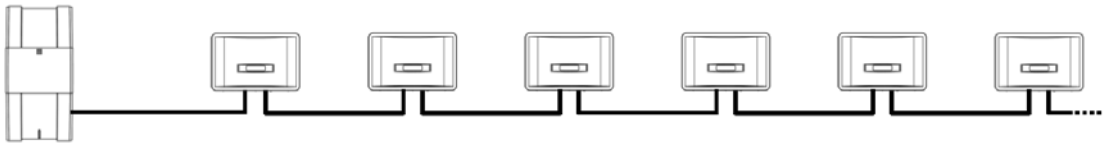
接続台数	ユニットNo.	ユニットNo.の設定
パワーコンディショナ 1 台目	1	変更する必要があります。（「0」→「1」）
パワーコンディショナ 2 台目	2	変更する必要があります。（「0」→「2」）
パワーコンディショナ 3 台目	3	変更する必要があります。（「0」→「3」）

- 計測ユニットとの接続が近い順に、「パワーコンディショナ1台目」、「パワーコンディショナ2台目」、「パワーコンディショナ3台目」と表現しています。
- パワーコンディショナの工場出荷時は、ユニットNo.は「0」に設定されています。
  必ず1台目のユニットNo.は「1」に設定を変更してください。
- パワーコンディショナ4 台目以降は、「4」、「5」、「6」の順でユニットNo. を設定してください。

- **ユニットNo.が正しく設定されていないと、発電量を算出できません。**
  必ず上記の表のように設定してください。ユニットNo.の設定方法については、
  パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。
- **本製品に同梱の施工結果記入シートにユニットNo、パワコンNo、形式、製造番号を記入してください。**

（例）

■ パワーコンディショナ情報

設置台数		3 台					
複数台設置する場合は、各パワーコンディショナのユニット No、型式、製造番号をご記入下さい。							
							
ユニット No.［パワコンに設定した番号］		1	2	3			
パワコン No.［計測ユニットが割り当てた番号］		1	2	3			
形式		KP48R-J3	KP48R-J3	KP48R-J3			
製造番号		000000000	111111111	222222222			
終端抵抗の設定	KP□K	ON ／ OFF	ON ／ OFF	ON ／ OFF	ON ／ OFF	ON ／ OFF	ON ／ OFF
	KP□M、R	終端抵抗 1 ON／OFF 終端抵抗 2 ON／OFF	終端抵抗 1 ON／OFF 終端抵抗 2 ON／OFF	終端抵抗 1 ON／OFF 終端抵抗 2 ON／OFF	終端抵抗 1 ON／OFF 終端抵抗 2 ON／OFF	終端抵抗 1 ON／OFF 終端抵抗 2 ON／OFF	終端抵抗 1 ON／OFF 終端抵抗 2 ON／OFF

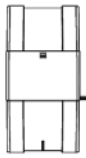
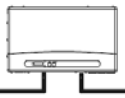
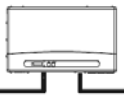
パワーコンディショナの配線・設定（つづき）

●パワーコンディショナの終端抵抗設定

パワーコンディショナを複数台接続する場合は、終端抵抗の設定が必要になります。
パワーコンディショナの施工マニュアルも併せてお読みください。

KP□K / KP□K2 シリーズを使用する場合の設定

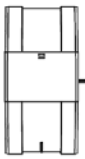
工場出荷時は、終端抵抗は「ON」に設定されています。

計測ユニット	パワーコンディショナ		
	計測ユニットと接続	中間	計測ユニットから最遠
			
	終端抵抗	終端抵抗	終端抵抗
	OFF	OFF	ON

● 計測ユニットと接続されているパワーコンディショナおよび中間のパワーコンディショナの終端抵抗を「OFF」にしてください。

KP□M 、KP□R シリーズを使用する場合の設定

工場出荷時は、終端抵抗 1/ 終端抵抗 2 ともに「ON」に設定されています。

計測ユニット	パワーコンディショナ					
	計測ユニットと接続※1		中間※2		計測ユニットから最遠※3	
						
	終端抵抗 1	終端抵抗 2	終端抵抗 1	終端抵抗 2	終端抵抗 1	終端抵抗 2
	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON

※ 1.「計測ユニットと接続」のパワーコンディショナの終端抵抗 1 を「OFF」にしてください。
※ 2. パワーコンディショナを3台以上接続する場合に必要な設定です。「計測ユニットと接続」のパワーコンディショナと「計測ユニットから最遠」のパワーコンディショナ以外は、終端抵抗を「OFF」にしてください。
※ 3.「計測ユニットから最遠」のパワーコンディショナの終端抵抗は「ON」のままにしてください。

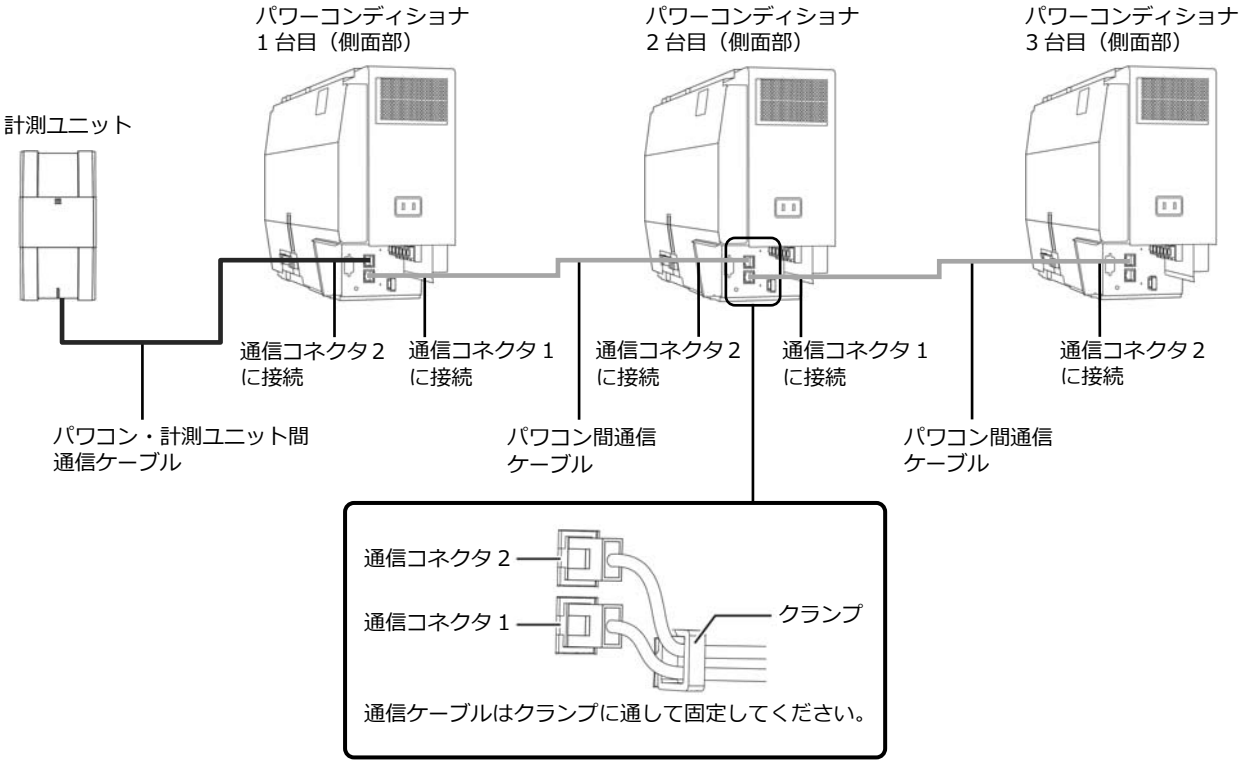
パワーコンディショナの配線・設定（つづき）

●パワーコンディショナと計測ユニットの配線

- パワーコンディショナを複数台設置する場合は、システムの総発電量を計測するために、パワーコンディショナ間にパワコン間通信ケーブルをつないでください。

KP□K / KP□K2 シリーズへの配線

計測ユニットにつないだパワコン・計測ユニット間通信ケーブルを、パワーコンディショナの通信コネクタ2に差し込む



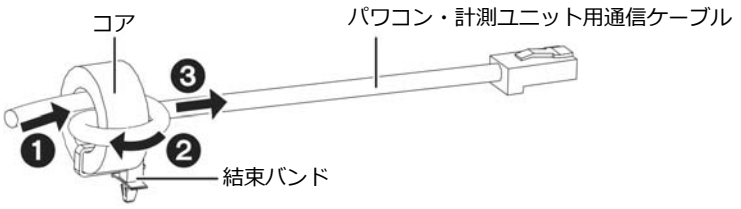
- 別売の通信ケーブルについてはP15をお読みください。
- パワーコンディショナの通信ケーブルと電力ケーブルを一緒に結束しないでください。
- パワーコンディショナを1台設置する場合は、上記の計測ユニットと「パワーコンディショナ 1 台目」の配線を行ってください。
- パワーコンディショナを2台設置する場合は、上記の計測ユニットと「パワーコンディショナ 1 台目」、「パワーコンディショナ2台目」の配線を行ってください。
- パワーコンディショナを 4 台以上使う場合も同様に接続してください。

パワーコンディショナの配線・設定（つづき）

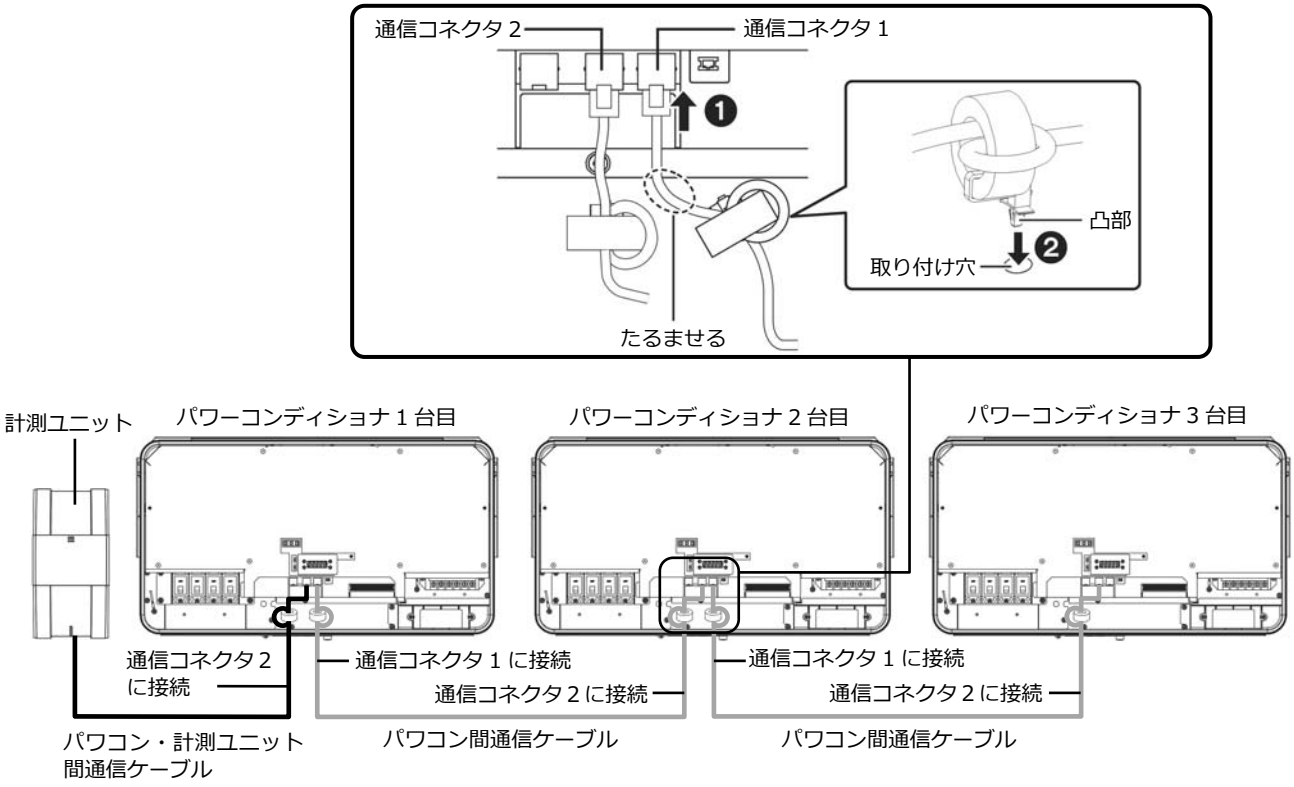
KP□M シリーズ への配線

1 計測ユニットにつないだパワコン・計測ユニット間通信ケーブルを、パワーコンディショナに同梱のコアに巻きつける

- パワコン・計測ユニット間通信ケーブルは、結束バンド台座の反対側から通してください。



2 パワコン・計測ユニット間通信ケーブルを、パワーコンディショナの通信コネクタ2に差し込み、結束バンド台座の凸部を取り付け穴に押し込む

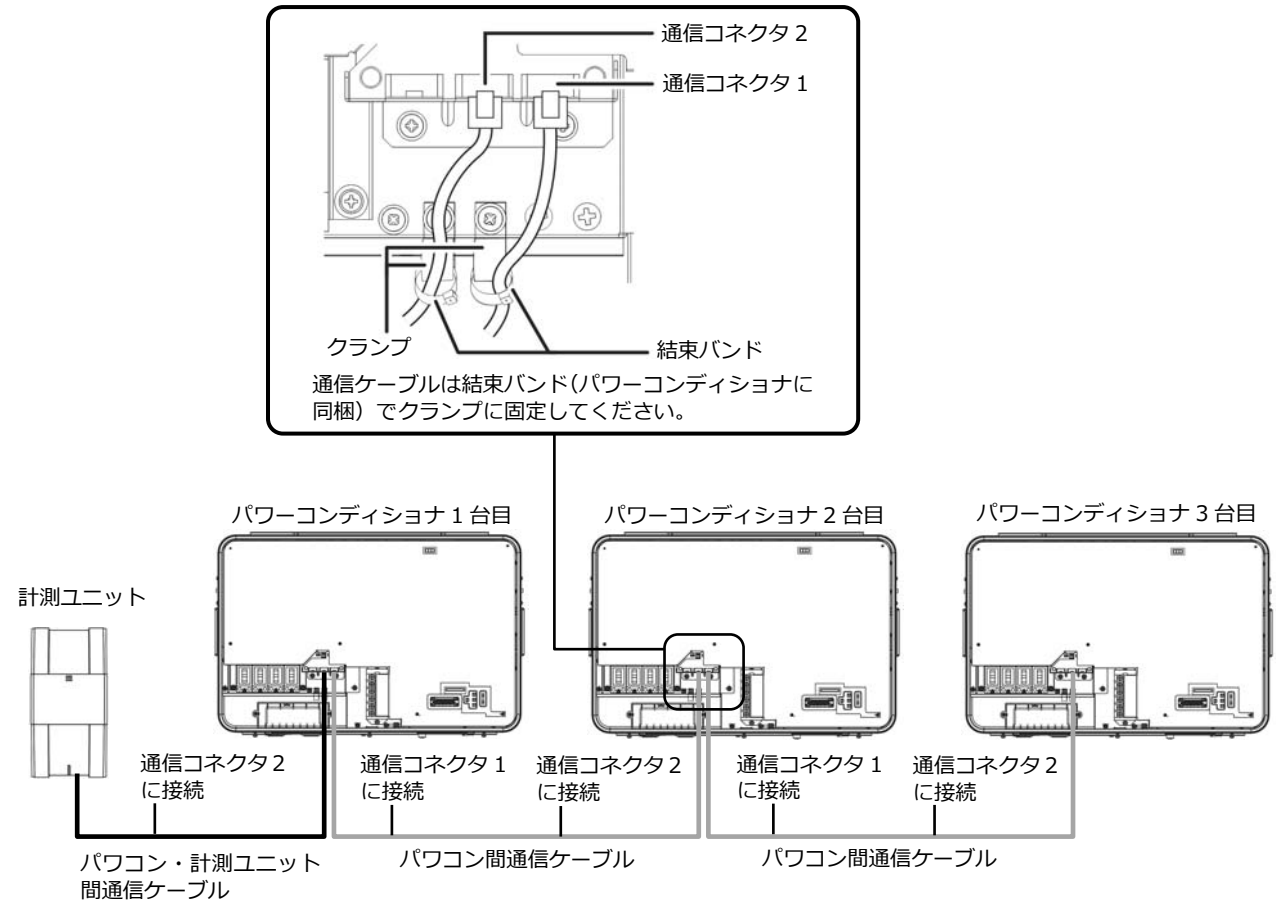


- 別売の通信ケーブルについてはP15をお読みください。
- パワーコンディショナの通信ケーブルと電力ケーブルを一緒に結束しないでください。
- パワーコンディショナを1台設置する場合は、上記の計測ユニットと「パワーコンディショナ１台目」の配線を行ってください。
- パワーコンディショナを2台設置する場合は、上記の計測ユニットと「パワーコンディショナ１台目」、「パワーコンディショナ2台目」の配線を行ってください。
- パワーコンディショナを４台以上使う場合も同様に接続してください。

パワーコンディショナの配線・設定（つづき）

KP□R シリーズへの配線

計測ユニットにつないだパワコン・計測ユニット間通信ケーブルを、パワーコンディショナの通信コネクタ2に差し込む

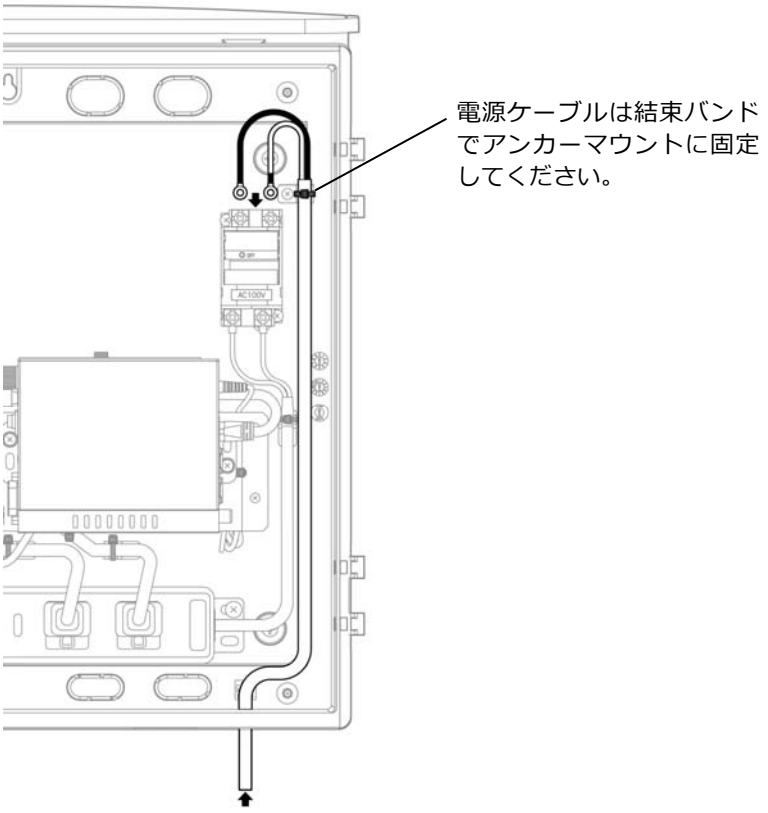


- 別売の通信ケーブルについてはP15をお読みください。
- パワーコンディショナの通信ケーブルと電力ケーブルを一緒に結束しないでください。
- パワーコンディショナを1台設置する場合は、上記の計測ユニットと「パワーコンディショナ 1 台目」の配線を行ってください。
- パワーコンディショナを2台設置する場合は、上記の計測ユニットと「パワーコンディショナ 1 台目」、「パワーコンディショナ2台目」の配線を行ってください。
- パワーコンディショナを 4 台以上使う場合も同様に接続してください。

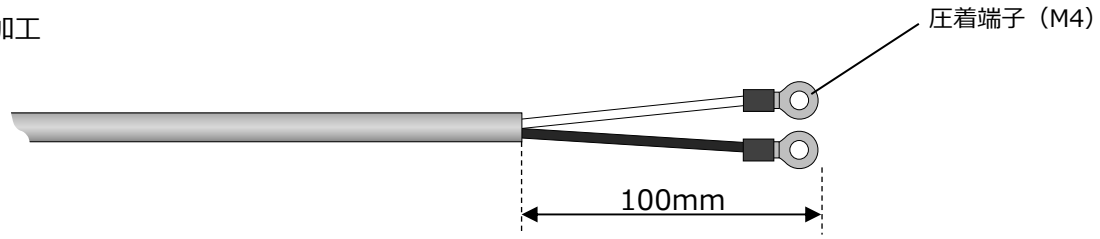
主電源ケーブルの配線

主電源(単相2線 AC100V)用ケーブルを、サーキットプロテクタへ接続します。

●必ず主電源のブレーカがオフであることを確認して、作業してください。



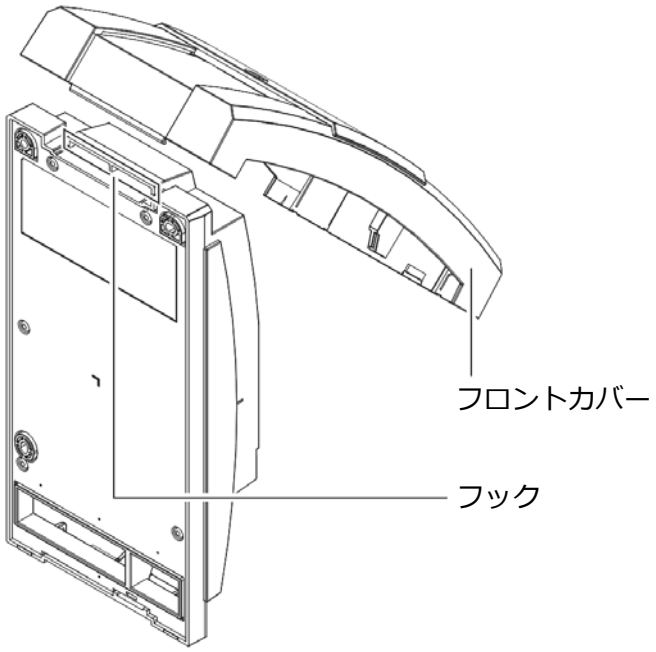
■ケーブル加工



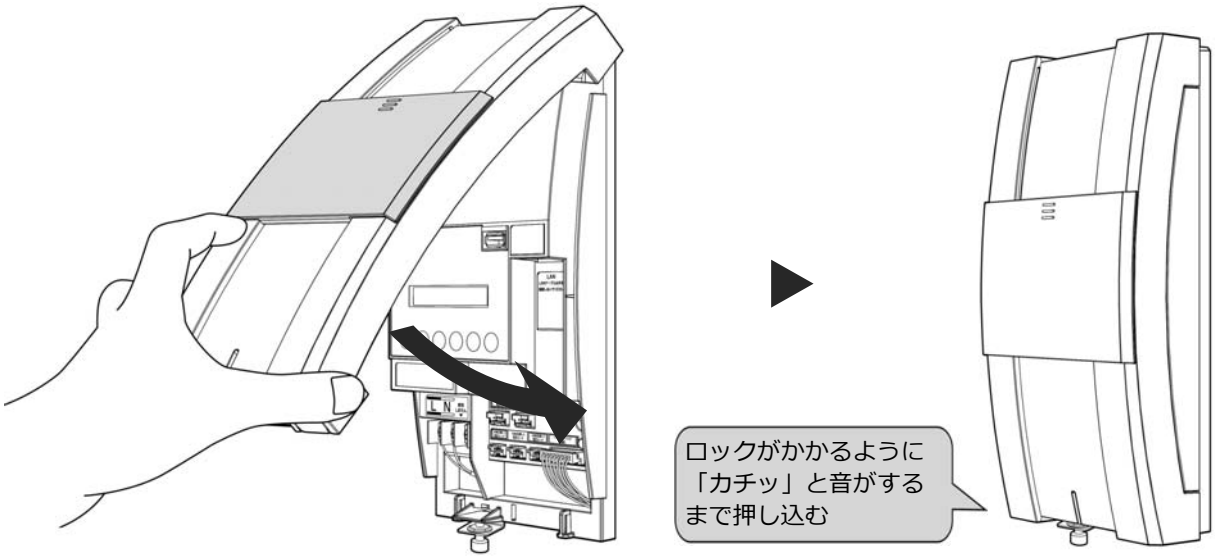
定格	AC100V（単相二線）
接続に関する注意	・施工・点検時には必ず主電源を切って下さい。
	・電線の絶縁被ふくをかまないように接続して下さい。
	・端子ネジは標準締付トルクで確実に締め付けてください。 接続不良は、発熱や発火の原因になります。 **標準締付トルク：1.0～1.4N･m**

フロントカバーの取り付け

1 フロントカバーを計測ユニット上部のフックに引っ掛ける



2 フロントカバーを取付ける



電源の起動

●起動前の確認

起動を始める前に、以下の項目を確認してください。

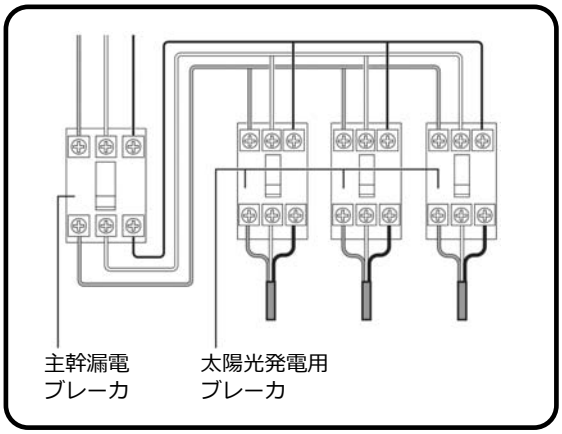
- **本装置の設置・電源配線が完了している**
- **接続しているパワーコンディショナの施工が完了している**
  パワーコンディショナの施工については、パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。
- **パワーコンディショナが起動できる日射量がある**
  太陽光発電ブレーカはオフの状態で初期設定をおこないます。初期設定の際はパワーコンディショナと通信を行うため、パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に、本装置の初期設定を行ってください。

●起動する

システムを起動する前に、以下の状態を確認してください。

– 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）が**オフ**になっているか※
– 太陽光発電用ブレーカが**オフ**になっているか※
– パワーコンディショナの運転スイッチが**オフ**になっているか※
– モバイルパック用主電源ブレーカが**オフ**になっているか

集電箱（全量買取方式）の例



1 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）をオンにする※

- パワーコンディショナの表示部に「E 1-0」が表示され、パワーコンディショナが起動します。
- 太陽光発電用ブレーカはオフのまま作業を進めてください。

2 モバイルパックの主電源ブレーカを ON にし、サーキットプロテクタを ON にする

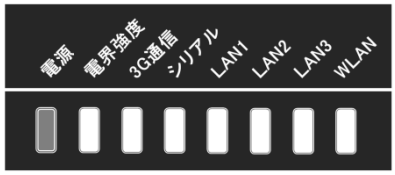
- 計測ユニット、3G ルータがそれぞれ起動を開始します。

※ パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

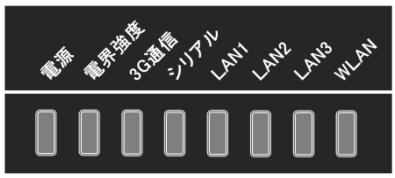
電源の起動（つづき）

3 3Gルータが起動したことを確認する

- 約 2 分程度で起動は完了します。

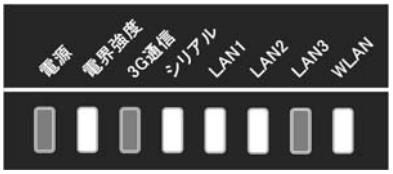


❶ 電源投入時
・電源ランプのみ緑点灯

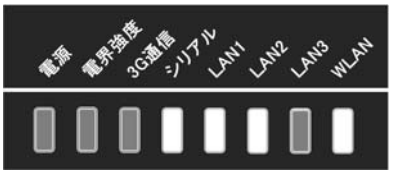


❷ 約 10 秒後
・全てのランプが緑点灯

❸ 約 15 秒後
・電源ランプは緑点灯
・3G 通信は赤点滅



❹ 約 1 分 30 秒後
・電源ランプは緑点灯
・3G 通信ランプは緑点灯
・LAN3 ランプは緑点灯

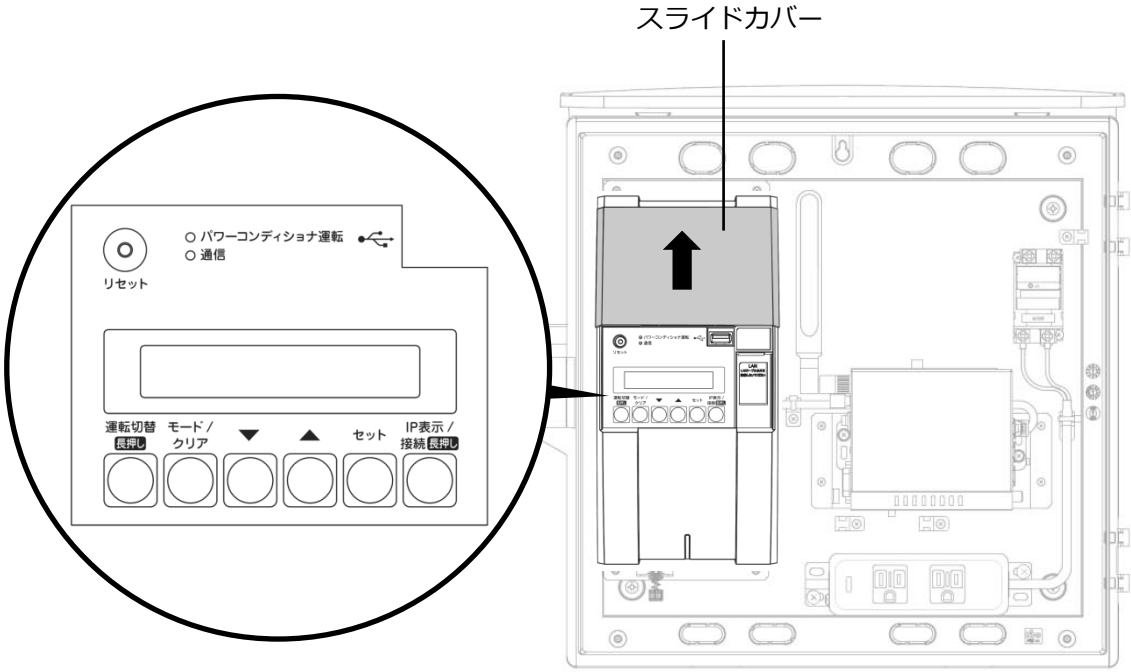


❺ 約 2 分後　起動完了
・電源ランプは緑点灯
・電界強度ランプは電波状況に応じた状態を表示
・3G 通信ランプは緑点灯
・LAN3 ランプは緑点灯

名称	状態	表示
電界強度	電界レベル５（強）	緑点灯
	電界レベル４	緑点滅
	電界レベル３	橙点灯
	電界レベル２	橙点滅
	電界レベル１	赤点灯
	電界レベル０（弱）	赤点滅

電源の起動（つづき）

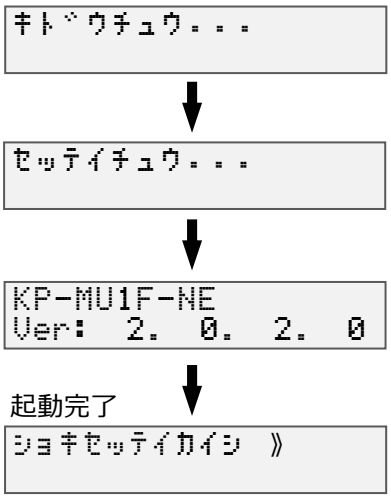
4 計測ユニットのスライドカバーを開ける



5 計測ユニットの表示部で、起動状態を確認する

- サーキットプロテクタを ON にしたあと、約 1 分で起動完了します。
- 表示部が消灯している場合は、いずれかのボタンを押して表示部を点灯させてください。
- 計測ユニットの表示部に「ショキセッテイカイシ」と表示されていることを確認します。

電源 ON 時

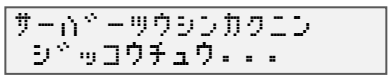


初期設定

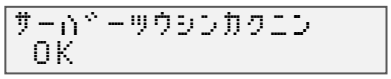
●通信テストを実施する

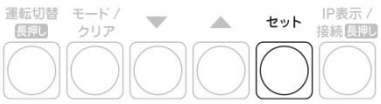
1 「ショキセッテイカイシ」が表示されている状態でセットボタンを押す

2 セットボタンを押し、通信確認を実行する



3 通信確認の結果が OK であることを確認し、セットボタンを押す
NG と表示された場合は、セットボタンを再度押し、手順 *2* の通信確認を再度実施する





- NG と表示された場合は、正常にインターネットへ接続できていない可能性があります。
  3G ルータの起動状態（P14）を確認してください。

4 時刻が表示されるので、現在時刻であることを確認する

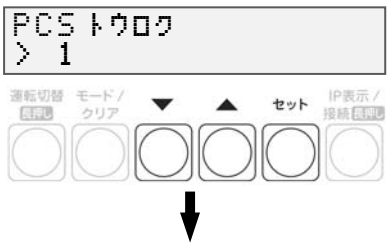
初期設定（つづき）

●パワーコンディショナを登録する

1 「ジコクヒョウジ」が表示されている状態で、セットボタンを押す

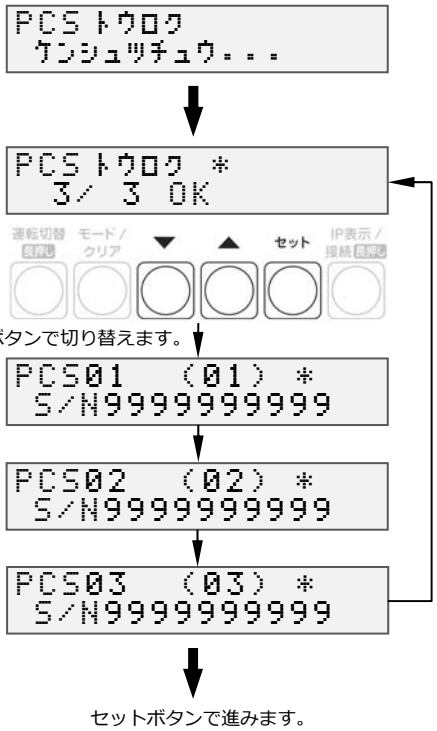
2 ▼ / ▲ボタンでパワーコンディショナの登録台数を選び、セットボタンを押す

- 1（台）～12（台）の範囲で選んでください。
- 登録台数と実際の設置台数が異なる場合、見守りが正しく動作しません。登録台数は正しく設定して下さい。



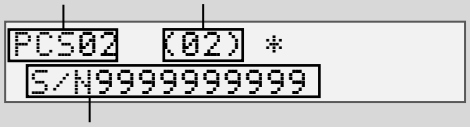
3 パワーコンディショナが自動検出され、OKと表示されたら、セットボタンを押す

- 自動検索後、「検出台数　/　登録台数」が表示され、OK と表示されることを確認してください。NG と表示された場合は、P32 をお読みください。
- 検出完了後、▼ / ▲ボタンで検索されたパワーコンディショナのシリアル No を確認できます。



・**パワコン No**　…　計測ユニットが割り当てた番号
・**ユニット No**　…　施工前にパワコンに設定した番号

パワコン No　ユニット No



パワコンのシリアル No

■サポートメール

■□――――――――
パワコンエラー検知のご報告（10/31）
――――――――■□

株式会社○○○○　様

日頃から「エコめがね i」サービスをご愛顧頂き、誠にありがとうございます。
パワコンエラーを検知しましたのでご報告致します。
※ 下記エラーは現地対応が必要と思われるエラーを 1 時間に 1 回確認してお知らせしています。
※ エラー情報内の日付は、パワコンのエラー発生時刻を表示しています。
▽パワコンエラー検知（時）に関するヘルプ
http://partner.eco-megane.jp/bhowtouse/bhelp07_02.html

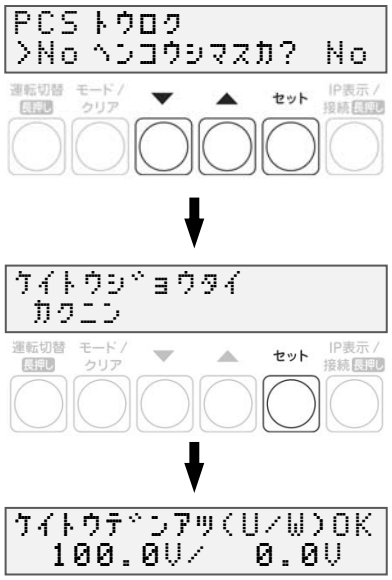
■商品 ID：9002-241-4860■
施主様名（MEMO）：スマイル太郎
設備名（MEMO）：スマイル様滋賀発電所
設置先住所：滋賀県長浜市中央区 8-8-8
●PCS#02 / #02
2015/10/31 10:22　E3-4：パワーコンディショナーの内部温度が高くなっています。

PCS#02 / #02
パワコン No / ユニット No

初期設定(つづき)

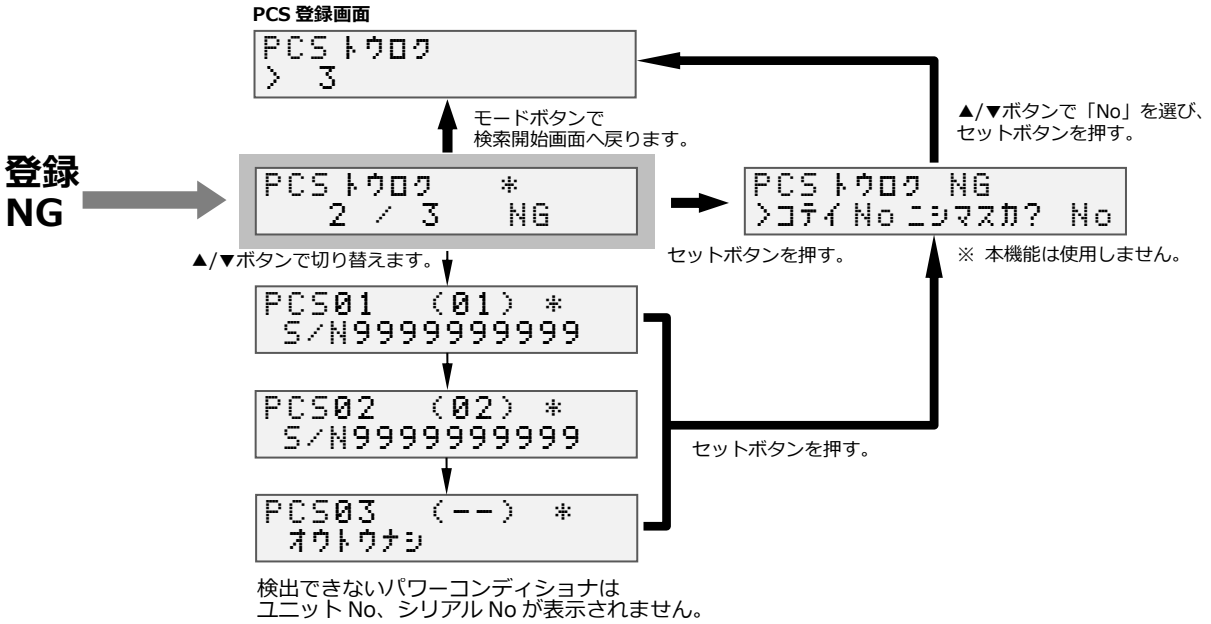
4 ▼ / ▲ボタンで「No」を選び、セットボタンを押す。

- 本機能は使用しません。



5 計測ユニットの電源電圧を確認し、セットボタンを押す

- **手順 *3* で NG と表示された場合**
  登録台数と検出台数に差異がある場合は、NG と表示されます。
  登録台数設定誤り、ユニット No の設定誤り、日射量不足、通信ケーブル未設等が考えられますので、状況を確認いただいたうえ、再度検索を実施してください。



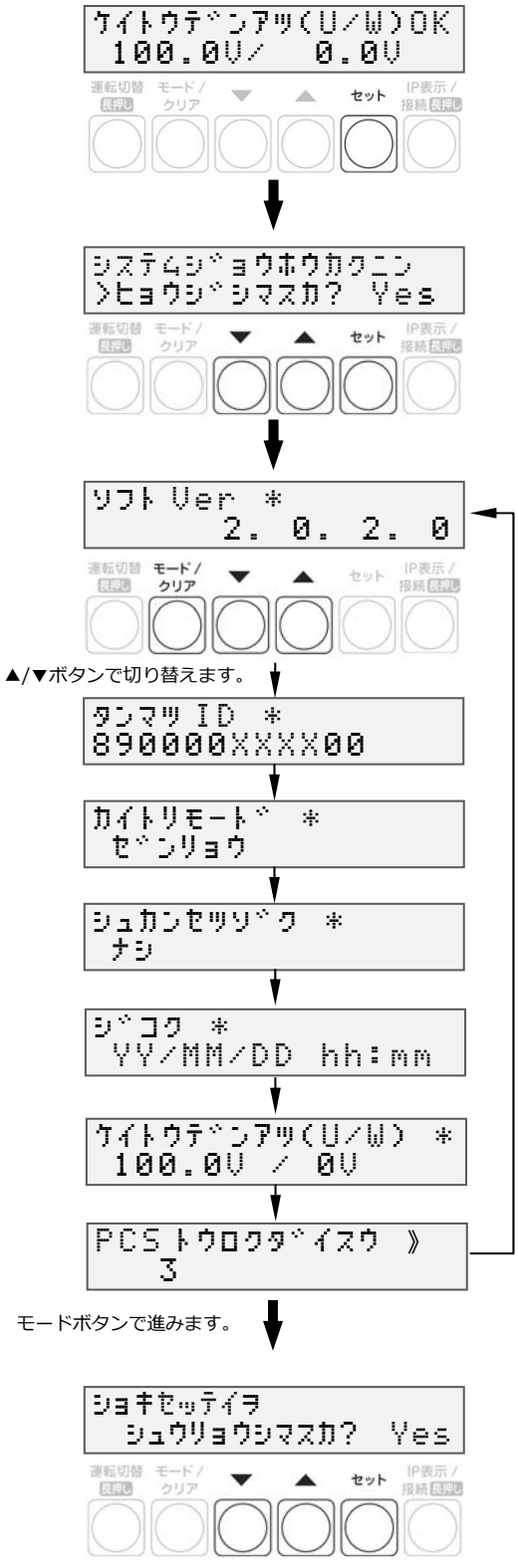
初期設定(つづき)

●システム情報の確認を行う

1 「ケイトウデンアツ」が表示されている状態で、セットボタンを押す

2 ▼ / ▲ボタンで「Yes」を選び、セットボタンを押す

3 ▼ / ▲ボタンでシステム情報を確認し、モードボタンを押す



4 ▼ / ▲ボタンで「Yes」を選び、セットボタンを押す

- **以上で設置作業、および初期設定は終了です。これより計測を開始します。**

  接続しているパワーコンディショナが KP□M シリーズ、または KP□R シリーズの場合は、続いてパワーコンディショナの動作確認をおこないます。

パワーコンディショナの動作確認

接続しているパワーコンディショナがKP□Mシリーズ、またはKP□Rシリーズの場合、計測ユニットからパワーコンディショナの運転停止/ 再開の切り替えが可能です。
連系を行う前に、本機能が正常に動作することを確認してください。

- **太陽電池が発電中に確認を行ってください。**
- **モバイルパックの主電源用ブレーカ、接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチがオフの状態で確認を始めてください。※**
- 停電用コンセントに電気製品を接続せずに動作確認を行ってください。
- パワーコンディショナを複数台設置している場合は、全台一括操作となります。個別のパワーコンディショナごとに操作することはできません。

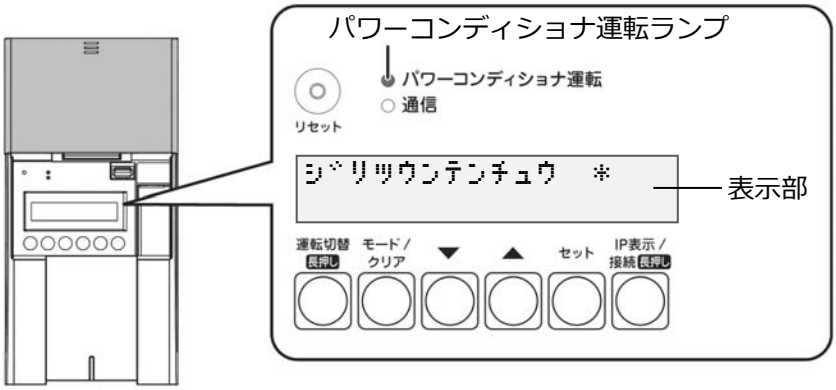
1 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）をオンにする※

- パワーコンディショナの表示部に「E 1-0」が表示されることを確認してください。
- （KP□Rシリーズの場合）
  運転ランプ、連系ランプ、発電電力表示ランプ（kW）が消灯していることを確認してください。

2 パワーコンディショナの運転スイッチをオンにする

- パワーコンディショナが自立運転を開始します。

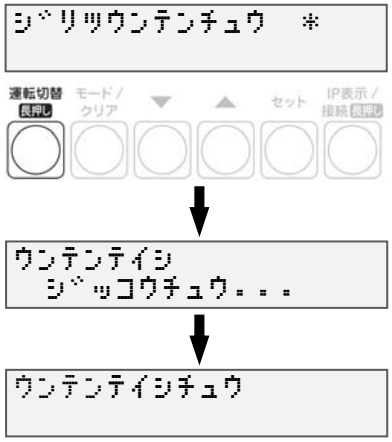
3 計測ユニットを確認する



- 計測ユニットの表示部に「ジリツウンテンチュウ」が表示され、パワーコンディショナ運転ランプが橙色点灯します。
- 表示部が消灯している場合は、いずれかのボタンを押して表示部を点灯させてください。

4 計測ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押し続けて、パワーコンディショナの運転を停止する

- 計測ユニットの表示部に「ウンテンテイシ　ジッコウチュウ…」、「ウンテンテイシチュウ」と表示され、パワーコンディショナの運転が停止することを確認してください。
  （パワーコンディショナ運転ランプが赤色点灯します）

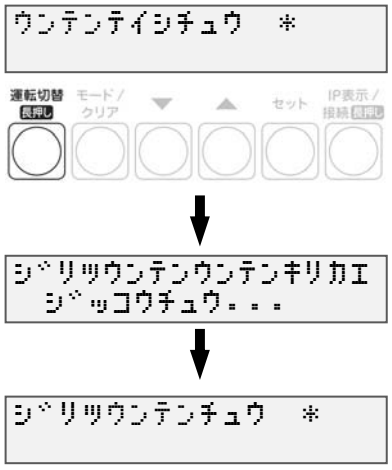


※ パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

パワーコンディショナの動作確認（つづき）

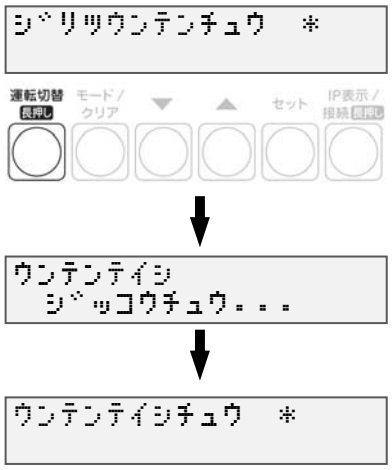
5 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続けて、パワーコンディショナの運転を開始する

- パワーコンディショナが自立運転を開始し、計測ユニットの表示部に「ジリツウンテンキリカエ ジッコウチュウ…」、「ジリツウンテンチュウ」と表示されることを確認してください。



6 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続けて、パワーコンディショナの運転を停止する

- 計測ユニットの表示部に「ウンテンテイシ ジッコウチュウ…」、「ウンテンテイシチュウ」と表示され、パワーコンディショナの運転が停止します。
（パワーコンディショナ運転ランプが赤色点灯します）



7 パワーコンディショナ本体の運転スイッチをオフにする

- パワーコンディショナ本体の運転スイッチがオフになっているときは、計測ユニットから運転操作はできません。
- 施工完了直後から系統連系が可能な場合は、運転スイッチはオンにしてください。

以上で、モバイルパックの設置作業はすべて終了です。

●連系をおこなわない場合
モバイルパックの主電源用ブレーカ、接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください。

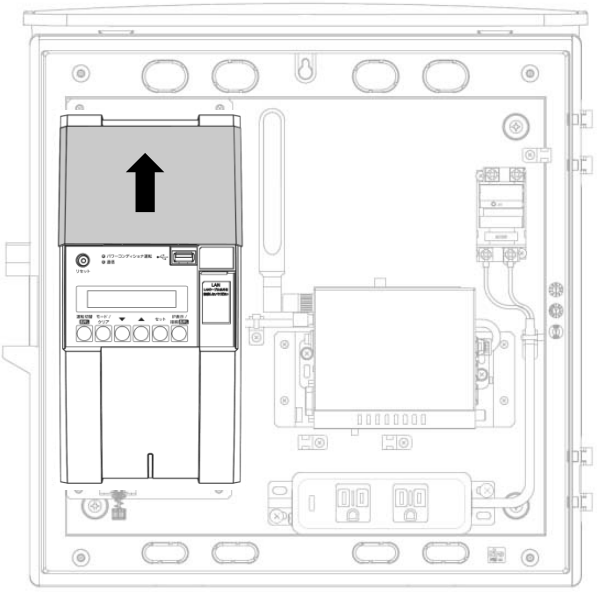
●連系をおこなう場合
モバイルパックの主電源用ブレーカ、接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オン**にしてください

表示部の見方

計測ユニットの表示部で現在の発電電力、パワーコンディショナの運転モード、エラーコードを確認できます。

1 計測ユニットのスライドカバーを矢印の方向にスライドさせる

- 表示部が消灯している場合は、いずれかのボタンを押して表示部を点灯させてください。
- 表示部の確認や操作が終わりましたら、スライドカバーは閉めてください。



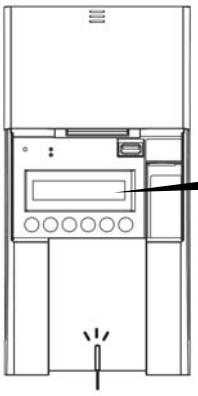
2 ▼ / ▲ボタンを押して表示を切り替えます。

- ボタンを押すごとに、下記のようにメイン画面が表示されます。

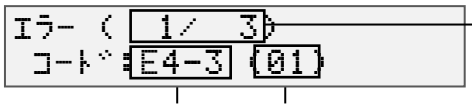
▲/▼ボタンで切り替えます。

表示部の見方(つづき)

● 異常が発生している場合、下記のように表示部でエラーを確認できます。



状態表示ランプ



現在発生中のエラー件数と
その何件目かを表示

エラーコード　　パワコン No.
※ 計測ユニットの場合は（－－）

スライドカバーを開けると、表示部に現在発生中のエラーが表示されています。

- 現在発生中のエラーが複数表示されている場合は、▼ / ▲ボタンで表示を切り替えることができます。
  （最大25 件まで）
- モード/ クリアボタンを押すと、通常のメイン画面が表示されます。もう一度表示するには、モード/ クリアボタンを2 秒以上押してください。
- エラーコードの示すエラー内容については「エラーコード一覧」（P49）で確認してください。

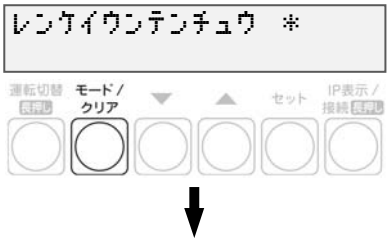
● 計測ユニットの状態表示ランプでも異常をお知らせします。

－緑色点灯：通常動作中
－緑色点滅：初期設定完了前
－橙色点滅：停電中
－赤色点灯：自動復旧が不可能な異常発生中
－赤色点滅：自動復旧の可能性のある異常発生中
－消灯　　：全パワーコンディショナが夜間発電停止状態かつ、無操作時

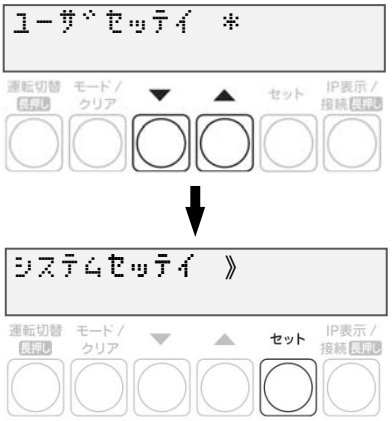
疎通確認を実施する

計測ユニットとサーバーとの疎通を確認できます。
●実施する前に、3G ルータが正常に起動していることを確認してください。

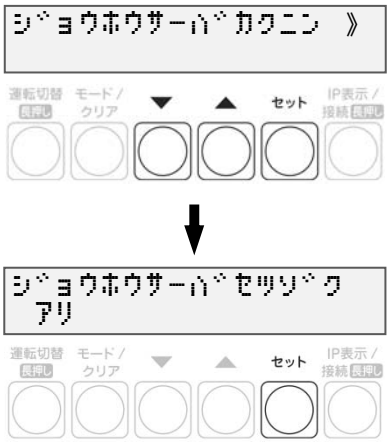
1 計測ユニットの表示部が消灯している場合はいずれかのボタンを押して表示部を点灯させ、モードボタンを押す



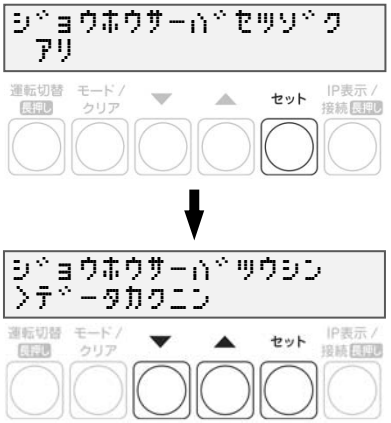
2 ▼ / ▲ボタンで「システムセッテイ」を選び、セットボタンを押す



3 ▼ / ▲ボタンで「ジョウホウサーバカクニン」を選び、セットボタンを押す

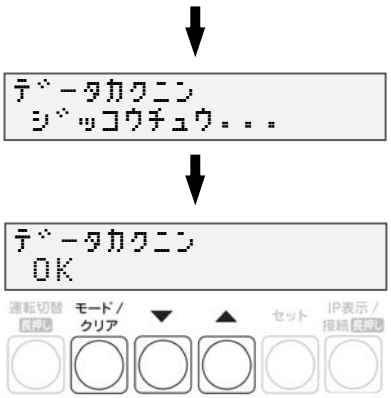


4 セットボタンを押す



5 ▼ / ▲ボタンで「データカクニン」を選び、セットボタンを押す

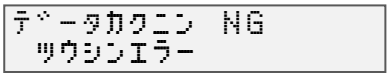
疎通確認を実施する(つづき)



6 疎通結果が OK であることを確認する

- モードボタンを 5 回押して、メイン画面に戻って終了してください。

●データカクニン NG　ツウシンエラーと表示された場合



インターネットへ接続できておりません。
3G ルータの LED ランプを確認し、動作状態を確認してください。(P14)
<原因>
－3G ルータの起動が完了していない可能性があります。
－3G ルータに異常が発生している可能性があります。
－3G 電波エリアの圏外である可能性があります。

パワーコンディショナを操作する

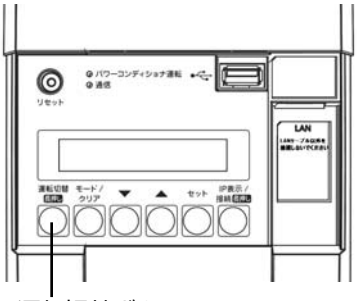
接続しているパワーコンディショナがKP□MシリーズまたはKP□Rシリーズの場合、計測ユニットから
パワーコンディショナを操作して、連系運転/自立運転/運転停止の切り替えができます。
- パワーコンディショナを複数台設置している場合は、全台一括操作となります。個別に操作することは
できません。

お使いのパワーコンディショナがKP□Kシリーズの場合、計測ユニットからパワーコンディショナの操作はできません。パワーコンディショナから操作してください。

●通常時の使い方（連系運転）

通常時（連系運転）の場合、計測ユニットでの操作は不要です。

■ パワーコンディショナの運転を停止させるには
計測ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押す
- パワーコンディショナ運転ランプが赤色に点灯し、表示部に「ウンテンテイシチュウ」と表示され、パワーコンディショナが停止します。
- 停止操作をすると、パワーコンディショナは停止状態を保つため、自動的に起動しません。（例えば、停止操作後に日が暮れた場合、翌朝もパワーコンディショナは停止状態を継続します。）
- 運転を再開させるためには、運転開始操作をしてください。



■ パワーコンディショナの運転を再開させるには
計測ユニットの運転切替ボタンを2以上押す
- パワーコンディショナ運転ランプが緑色に点灯し、表示部に「レンケイウンテンチュウ」と表示され、パワーコンディショナの運転が再開します。

お知らせ
- 夜間など太陽光が発電しないときは、計測ユニットでのパワーコンディショナの運転停止/再開の操作はできません。

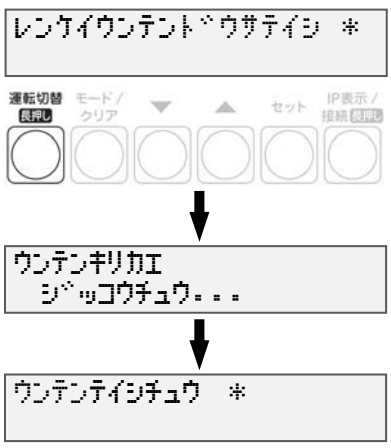
●停電時の使い方（自立運転）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、計測ユニットの状態表示ランプが橙色に点滅します。下記の操作をして、自立運転に切り替えると、太陽光発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、計測ユニットのすべての表示が消灯し、自立運転への切り替えはできません。

1 太陽光発電用ブレーカをオフにする

2 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続ける

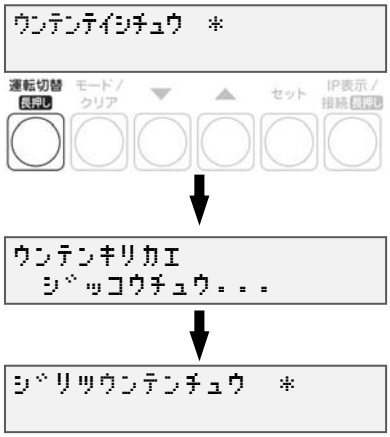
- パワーコンディショナの運転が停止します。



パワーコンディショナを操作する（つづき）

3 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続ける

● 自立運転を開始すると、パワーコンディショナ運転ランプが橙色に点灯し、表示部に「ジリツウンテンチュウ」と表示されます。



4 停電用コンセントに、使用したい機器を接続する

● 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。下記の機器は停電用コンセントに接続しないでください。
－すべての医療機器
－灯油やガスを用いる冷暖房機器
－パソコン、ワープロなどの情報機器
－その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器
● 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下（AC 100V で最大15A 以下）になるようにしてください。
● ▼ / ▲ボタンを押すと、表示部が電力表示に切り替わり、停電用コンセントに接続した機器の消費電力の値が表示されます。（何も接続していない場合は“0.0”が表示されます）

■ 自立運転が停止してしまったら

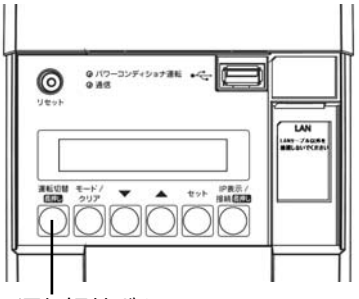
パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、計測ユニットの状態表示ランプが橙色に点滅してから、「停電時の使い方（自立運転）」(P40) の手順２～３を行ってください。

● 夜間など太陽電池が発電していないときは、計測ユニットのすべての表示が消灯し、自立運転を再開させることはできません。

お知らせ

● 自立運転を停止させるには、計測ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押し続けてください。もう一度運転切替ボタンを2秒以上押し続けると、自立運転を再開します。
● 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止する場合があります。
保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

1 計測ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押し続ける
　● パワーコンディショナが運転を停止します。
2 停電用コンセントに接続している機器を減らす
3 計測ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押し続ける
　● パワーコンディショナが運転を再開します。



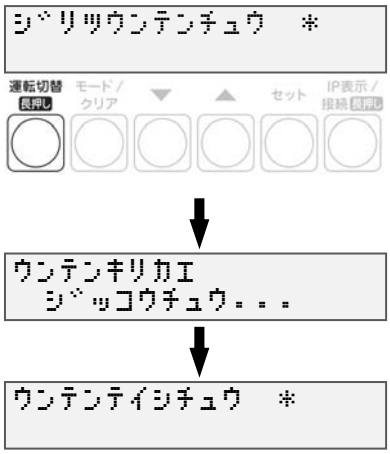
パワーコンディショナを操作する（つづき）

●復電時の操作（自立運転 → 連系運転）

停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順２のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。
- 計測ユニットの表示部に「ジリツウンテンチュウ」と表示されている時に、操作を行ってください。

1 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続ける

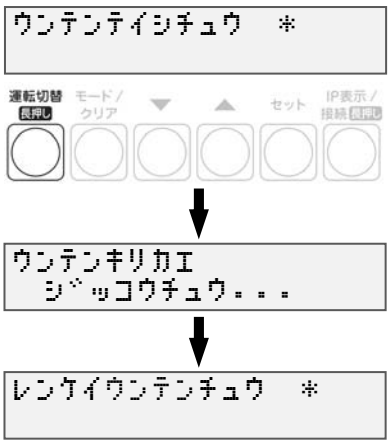
- パワーコンディショナの運転が停止します。



2 太陽光ブレーカをオンにする

3 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続ける

- 連系運転を開始すると、パワーコンディショナ運転ランプが緑色点灯し、表示部に「レンケイウンテンチュウ」と表示されます。



パワーコンディショナを交換・追加する

パワーコンディショナを交換・追加する場合は、新たにパワーコンディショナを登録する必要があります。
● パワーコンディショナは最大 12 台まで登録できます。

1 交換・追加するパワーコンディショナのユニット No.を設定する

パワーコンディショナを交換・追加する場合は、新たに設置するパワーコンディショナのユニットNo.を設定します。

■ 交換する場合

パワーコンディショナを交換する場合は、交換前のパワーコンディショナと同じユニットNo.を、新たに設置するパワーコンディショナへ設定して下さい。

（例）3 台のシステム構成で 2 台目を交換する場合

接続台数	ユニットNo.	
	交換前	交換後
パワーコンディショナ 1 台目	1	1
パワーコンディショナ 2 台目	2	②……
パワーコンディショナ 3 台目	3	3

交換前のパワーコンディショナと同じユニットNo.を設定する

■ 追加する場合

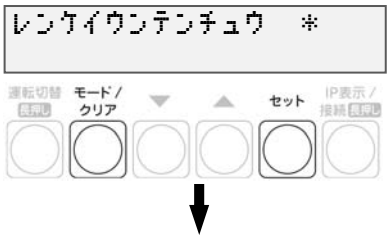
パワーコンディショナを新たに追加する場合は、新たなユニットNo.を追加設置するパワーコンディショナへ設定して下さい。

（例）3 台のシステム構成で 4 台目を追加する場合

接続台数	ユニットNo.	
	交換前	交換後
パワーコンディショナ 1 台目	1	1
パワーコンディショナ 2 台目	2	2
パワーコンディショナ 3 台目	3	3
（追加）パワーコンディショナ 4 台目	-	④……

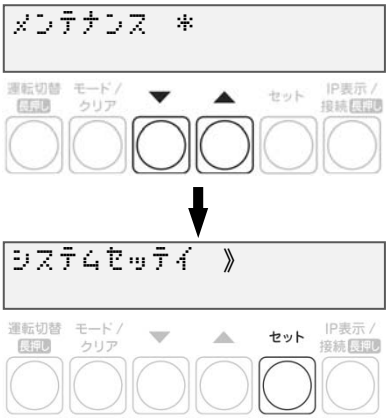
新たなユニットNo.を設定する

2 計測ユニットの表示部に「レンケイウンテンチュウ」、もしくは「デンリョク」が表示している状態で、モードボタンとセットボタンを同時に長押しする



● 表示部が消灯している場合は、いずれかのボタンを押して表示部を点灯させてください。

3 ▼ / ▲ボタンで「システムセッテイ」を選び、セットボタンを押す



パワーコンディショナを交換・追加する（つづき）

4 「PCS トウロク」が表示されている状態で、セットボタンを押す

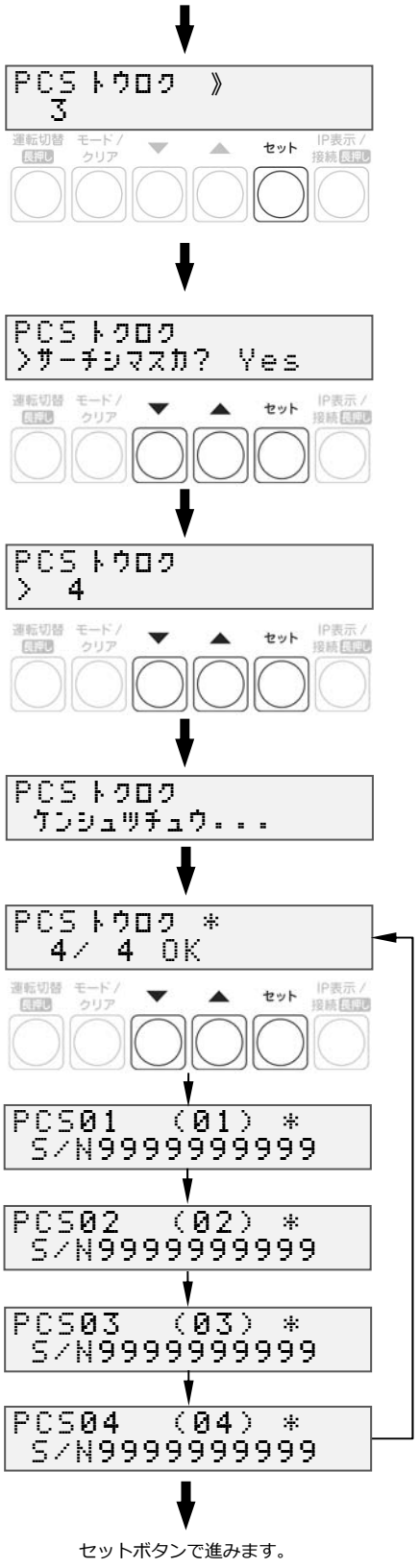
5 ▼ / ▲ボタンで「Yes」を選び、セットボタンを押す

6 ▼ / ▲ボタンで登録台数を選び、セットボタンを押す

- **パワーコンディショナの交換をおこなった場合**
  既存の登録台数のまま、自動検出をおこなってください。
- **パワーコンディショナの追加をおこなった場合**
  既存の登録台数に新たに設置する台数を足した台数で自動検出をおこなってください。

7 パワーコンディショナが自動検出され、OK と表示されれば、セットボタンを押す

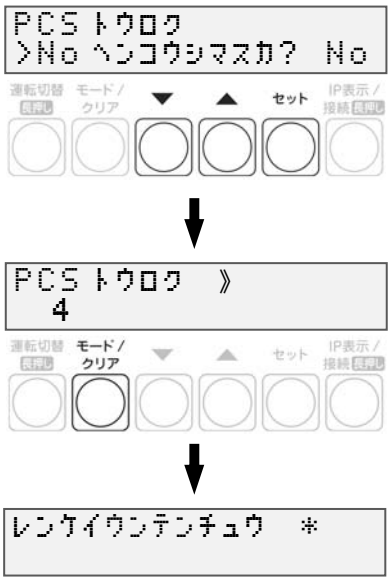
- 自動検索後、「検出台数　/　登録台数」が表示され、OK と表示されることを確認してください。
  NG と表示された場合は、P32 をお読みください。
- 検出完了後、▼ / ▲ボタンで検索されたパワーコンディショナのシリアル No を確認できます。



パワーコンディショナを交換・追加する（つづき）

8 ▼ / ▲ボタンで「No」を選び、セットボタンを押す。

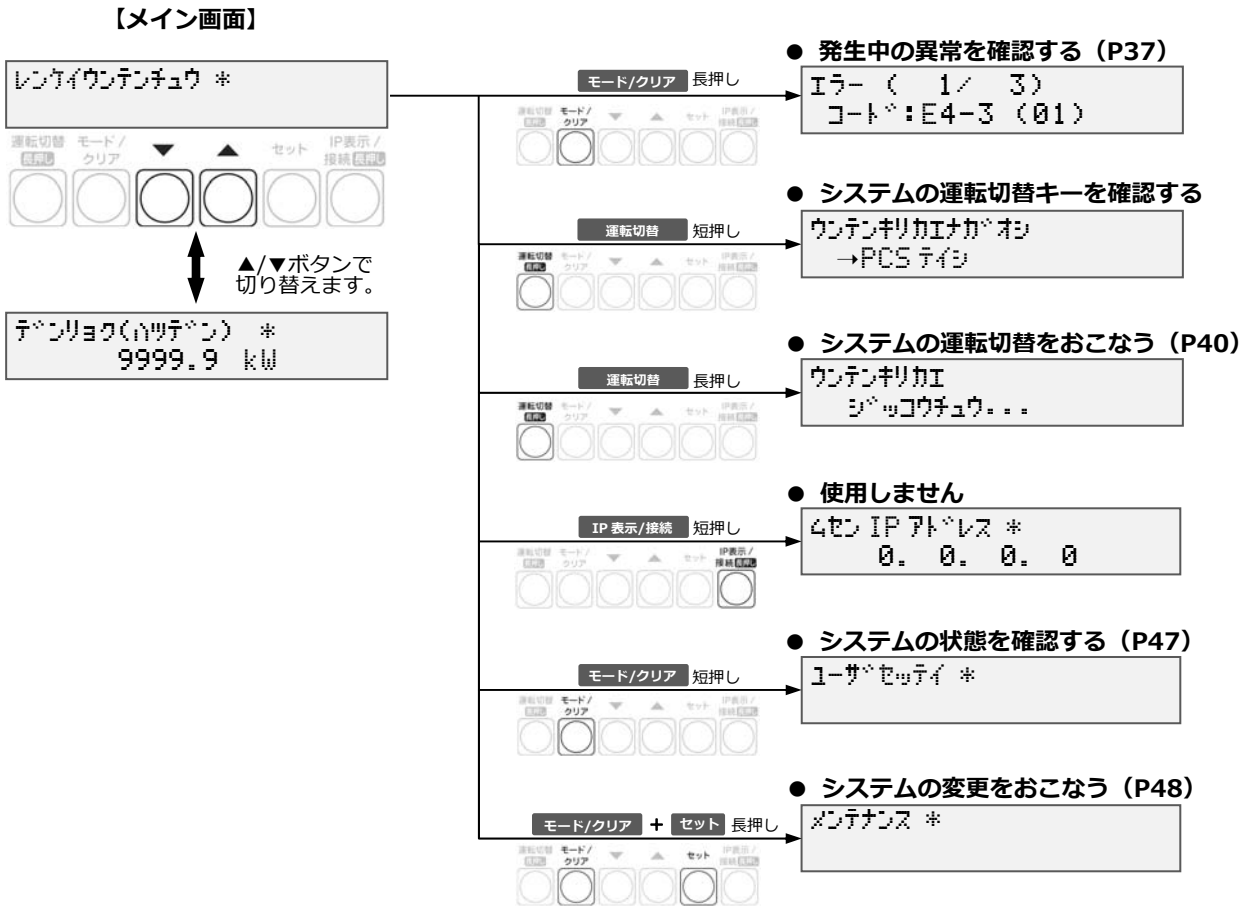
- 本機能は使用しません。



9 パワーコンディショナの登録台数が正しいことを確認し、モードボタンを2回押す

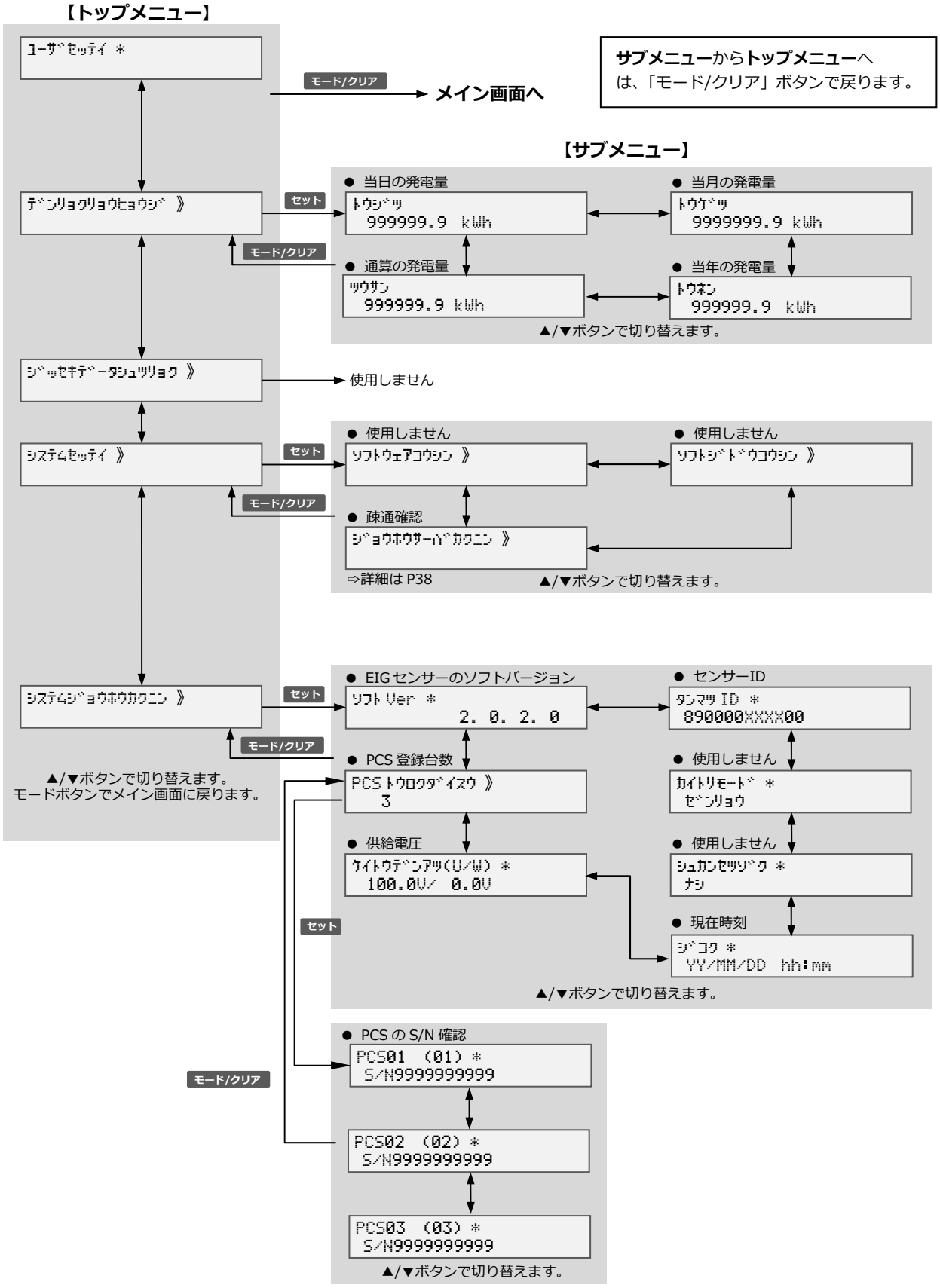
メニュー遷移

メニュー遷移図



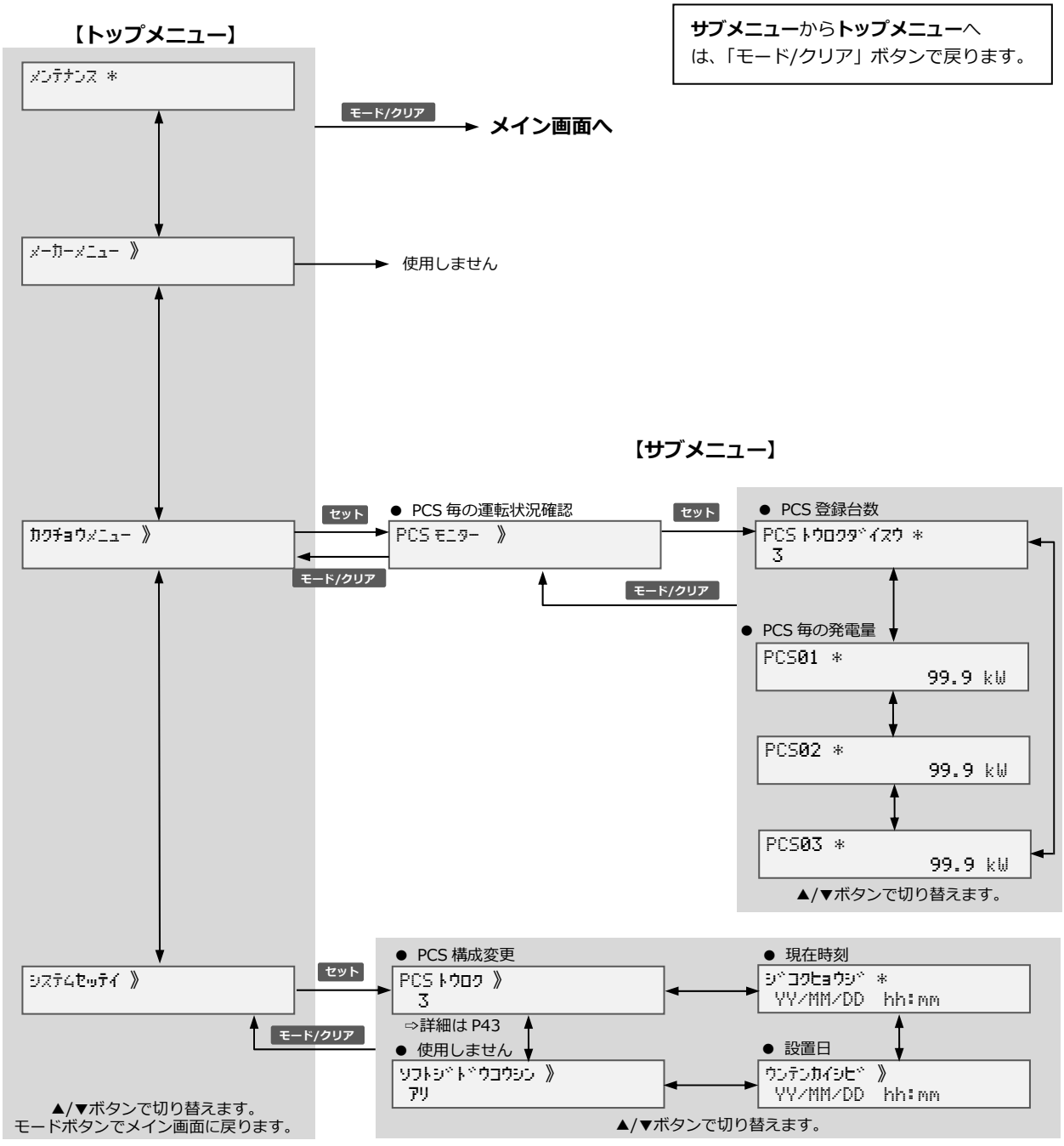
メニュー遷移（つづき）

ユーザ設定　メニュー遷移図



メニュー遷移（つづき）

メンテナンス　メニュー遷移図



エラーコード一覧

パワーコンディショナに関するエラーコード

● 発生したエラーに対する処置については、各パワーコンディショナの取扱説明書をご確認ください。

エラーコード	エラー内容	事象
A1-5	自立運転過負荷状態	自立運転中に電気の使いすぎ、または使用中の電気製品の故障を検出しています。
A2-7	内部ファン異常	パワーコンディショナ本体に異常が発生しています。
E1-1	交流過電圧検出	商用系統の電圧が上昇しました。
E1-2	交流不足電圧検出	商用系統の電圧が低下しました。
E1-3	周波数上昇検出	商用系統の周波数が上昇しました。
E1-4	周波数低下検出	商用系統の周波数が低下しました。
E1-5	単独運転検出 （受動的方式）	商用系統の周波数に異常が発生し、単独運転検出（受動的方式）が働きました。
E1-6	単独運転検出 （能動的方式）	商用系統の周波数に異常が発生し、単独運転検出（能動的方式）が働きました。
E1-7	瞬時過電圧検出	商用系統の電圧が 123V 以上になっています。
E1-8	瞬時電圧低下検出	●商用系統の電圧が 15V 以下になっています。 ●交流側のヒューズが切れている可能性があります。
E2-1	太陽電池過電圧検出	太陽電池の電圧が高くなっています。
E2-3	直流地絡検出	太陽電池側の機器の絶縁抵抗が低下しています。
E3-1	直流過電流検出	パワーコンディショナ本体に異常が発生しています。
E3-2	交流過電流検出	
E3-3	直流分検出	
E3-4	装置温度異常	パワーコンディショナ内部が高温になっています。
E4-2	特性異常	パワーコンディショナ本体に異常が発生しています。
E4-3	出力制御異常	
E4-4	ROMバージョン異常	
E4-5	制御電源異常	
E4-6	EEPROM Sum値異常	
E4-7	EEPROM 異常	
E4-8	装置未校正	
E5-1	連系リレー動作異常 / 端子台温度異常	
E5-2	表示ハード異常	
E5-3	DC/DC コン 過電圧検出	
E5-4	DC/DC コン 不足電圧検出	
E5-5	地絡センサ断線	
E5-6	過電流検出	

エラーコード一覧（つづき）

計測ユニットに関するエラーコード

● 記載している以外のエラーコードが表示された場合は、巻末のお問い合せ先へ連絡してください。

エラーコード	エラー内容	事象
C1-1	時刻異常動作停止	3Gルータが正常に起動していることを確認して、計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C1-2	時刻同期異常	
C1-3	パワーコンディショナ 動作モード不一致	（パワーコンディショナが複数台設置されている場合のみ） いずれかの太陽光発電用ブレーカがオフになっている可能性があります。太陽光発電用ブレーカの状態を確認して、太陽光発電用ブレーカをすべてオンにしてください。その後、パワーコンディショナ本体の運転スイッチを入れ直してオンにしてください。エラーが解消されない場合は、太陽光発電用ブレーカをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C1-4	パワーコンディショナ 台数不一致	パワーコンディショナの設置台数が設定値と一致していません。 パワーコンディショナの設置台数および通信ケーブルが正しく配線されているか確認してください。 設置台数の設定変更が必要な場合は P43 をご確認ください。 エラーが解消されない場合は、計測ユニットもしくは通信ケーブルの故障の可能性があります。巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C2-1	EEPROM 異常	計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C2-2	FLASH メモリ異常	
C2-3	FLASH メモリ寿命	計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C2-5	Web サーバ異常	数日に渡って継続的に発生している場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C2-7	動作保証期間外異常	本製品は、2038 年以降は使用できません。現在 2038 年以降でない場合は、計測ユニットを再起動し、計測ユニットの時刻が現在時刻であることを確認してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C2-8	オーバーフロー通知	発電実績データが上限値に達しました。時刻異常の可能性がありますので、3G ルータが正常に起動していることを確認して、計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C3-1	ソフトウェア更新異常	ソフトウェア更新に失敗しました。継続的に発生している場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C3-3	システム異常	計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C3-4	無線 LAN 異常	継続的に発生している場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。巻末のお問い合わせ先へ連絡してください

エラーコード一覧（つづき）

エラーコード	エラー内容	事象
C3-5	時計異常	3Gルータが正常に起動していることを確認して、計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C3-6	設定データ不正	ソフトウェア更新に失敗しました。継続的に発生している場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C3-7	ソフトウェアバージョン不正	
C3-8	ソフトウェア更新異常 (パワーコンディショナ)	パワーコンディショナのソフトウェア更新に失敗しました。継続的に発生している場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C3-9	パワーコンディショナ ROM 異常	
C4-1	内部通信エラー （データ通信）	継続的に発生している場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C4-2	内部通信エラー （UI 通信）	
C4-3	内部通信エラー （起動時タイムアウト）	計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C4-4	内部通信エラー （起動時異常応答）	
C5-1	系統過電圧	計測ユニットの電源電圧に異常があります。 モバイルパックの電源ケーブルが正しく配線されているか確認してください。 問題がない場合は、「システム情報表示」メニューで「システム」の「系統電圧」を確認してください。 配線を修正した場合は、計測ユニットを再起動してください。 エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C5-2	系統過電流	全量で使用しない主幹用電流センサが設置されている可能性があります。 設置されている場合は取り外してご使用ください。 主幹用電流センサが設置されていない場合は、計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C5-3	系統不足電圧	計測ユニットの電源電圧に異常があります。 モバイルパックの電源ケーブルが正しく配線されているか確認してください。 問題がない場合は、「システム情報表示」メニューで「システム」の「系統電圧」を確認してください。 配線を修正した場合は、計測ユニットを再起動してください。 エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C5-4	外部発電センサ過電流	全量で使用しない外部発電用電流センサが設置されている可能性があります。 設置されている場合は取り外してご使用ください。 外部発電用電流センサが設置されていない場合は、計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C5-5	分岐計測センサ過電流	全量で使用しない分岐計測用電流センサが設置されている可能性があります。 設置されている場合は取り外してご使用ください。 分岐計測用電流センサが設置されていない場合は、計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。

エラーコード一覧（つづき）

エラーコード	エラー内容	事象
C6-1	時刻設定異常	3Gルータが正常に起動していることを確認して、計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C6-2	CPUシステムエラー	計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C6-3	サブCPU通信エラー	
C6-4	サブCPU FLASHメモリ異常	
C6-5	WDT異常	計測部が異常状態となったため、再起動しました。継続して発生している場合には、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C6-6	運転切替エラー	計測ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押して、パワーコンディショナの運転切替を実施してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C6-7	サブCPU EEPROM異常	計測ユニットを再起動してください。エラーが解消されない場合は、計測ユニットの故障の可能性があります。モバイルパック用主電源用ブレーカをオフにし、本装置のサーキットプロテクタをオフにして、巻末のお問い合わせ先へ連絡してください。
C7-3	ソフト更新サーバ通信システムエラー	
C7-6	情報サーバ通信システムエラー	

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報

●本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。
本製品は、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」という）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しています。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む 第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。 この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますが、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権者やその他の第三者は、一切の保証なく、"as is"(現状) の状態で、かつ、明示か暗黙であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントを提供します。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての暗黙の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関する全てのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の発生費用や修理・訂正に要する費用はお客様の 負担とします。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネント を使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害について何らの責任も負いません。

著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も 含まれますが、これに限定されるものでは- 2 -ありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用 条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。 本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読 んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は弊社以外の第三者による規定 であるため、原文を記載します。

ソフトウェア名	EULA
u-boot / linux / busybox / lrzsz / lzo / mdt-util / udev	Exhibit A
dnsmasq / gnupg	Exhibit B
libnl	Exhibit C
なし	Exhibit D
lighttpd / openssl / wpa_supplicant / upnp / hosapd	Exhibit E

●計測ユニットで使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

■ Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too. When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things. To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it. For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights. We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software. Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations. Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all. The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you". Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報（つづき）

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License. 3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machinereadable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided
by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms. To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報（つづき）

option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 021101301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items-whatever suits your program.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker. <signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

■ Exhibit B

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 3, 29 June 2007

Copyright (C) 2007 Free Software Foundation, Inc. <http://fsf.org/> Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft license for software and other kinds of works.
The licenses for most software and other practical works are designed to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program--to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.
When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.
To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.
For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.
Developers that use the GNU GPL protect your rights with two steps: (1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify it.
For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.
Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.
Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program non-free.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS

0. Definitions.
"This License" refers to version 3 of the GNU General Public License. "Copyright" also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.
"The Program" refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as "you". "Licensees" and "recipients" may be individuals or organizations.
To "modify" a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a "modified version" of the earlier work or a work "based on" the earlier work.
A "covered work" means either the unmodified Program or a work based on the Program.
To "propagate" a work means to do anything with it that, without permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, except executing it on a computer or modifying a private copy. Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.
To "convey" a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not conveying.
An interactive user interface displays "Appropriate Legal Notices" to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.
1. Source Code.
The "source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. "Object code" means any non-source form of a work.
A "Standard Interface" means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers working in that language.
The "System Libraries" of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A "Major Component", in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.
The "Corresponding Source" for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the work's System Libraries, or general-purpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.
The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.
The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報（つづき）

2. Basic Permissions.
All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.

No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the extent such circumvention is effected by exercising rights under this License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

4. Conveying Verbatim Copies.

You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

5. Conveying Modified Source Versions.

You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.

b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section 7. This requirement modifies the requirement in section 4 to "keep intact all notices".

c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.

d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.

A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an "aggregate" if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

6. Conveying Non-Source Forms.

You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.

b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer
support for that product model, to give anyone who possesses the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.

c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the Corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.

d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.

e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.

A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A "User Product" is either (1) a "consumer product", which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user, "normally used" refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

"Installation Information" for a User Product means any methods, procedures, authorization keys, or other information required to install and execute modified versions of a covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報（つづき）

functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this section must be in a format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

7. Additional Terms.

"Additional permissions" are terms that supplement the terms of this License by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or
b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or
c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or
d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or
e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or
f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.

All other non-permissive additional terms are considered "further restrictions" within the meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.
If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.
Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions; the above requirements apply either way.
8. Termination.
You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).
However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.
Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.
Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.
9. Acceptance Not Required for Having Copies.
You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.
10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.
Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
An "entity transaction" is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the work also receives whatever licenses to the work the party's predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.
You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

11. Patents.
A "contributor" is a copyright holder who authorizes use under this License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor's "contributor version".
A contributor's "essential patent claims" are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already acquired or hereafter acquired, that would be infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For purposes of this definition, "control" includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this License.
Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor's essential patent claims, to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.
In the following three paragraphs, a "patent license" is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To "grant" such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.
If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報（つづき）

benefit of the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. "Knowingly relying" means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient's use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.
If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.
A patent license is "discriminatory" if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a discriminatory patent license (a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or (b) primarily for and in connection with specific products or compilations that contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.
Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.
12. No Surrender of Others' Freedom.
If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.
13. Use with the GNU Affero General Public License.
Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the combination as such.
14. Revised Versions of this License.
The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a later version.

15. Disclaimer of Warranty.
THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. Limitation of Liability.
IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.
17. Interpretation of Sections 15 and 16.
If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.
To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively state the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

> **<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>**
> **Copyright (C) <year> <name of author>**
> **This program is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.**
> **This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.**
> **You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program. If not, see <http://www.gnu.org/licenses/>.**

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
If the program does terminal interaction, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

> **<program> Copyright (C) <year> <name of author> This program comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.**
> **This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.**

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, your program's commands might be different; for a GUI interface, you would use an "about box".
You should also get your employer (if you work as a programmer) or school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. For more information on this, and how to apply and follow the GNU GPL, see <http://www.gnu.org/licenses/>.
The GNU General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.
But first, please read <http://www.gnu.org/philosophy/why-not-lgpl.html>.

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報（つづき）

■ Exhibit C

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.
[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.
This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.
When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.
For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.
Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.
Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.
When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.
We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.
For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.
In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is
linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.
b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報（つづき）

the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.
Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.
4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.
When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.
If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.
6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.
7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報（つづき）

generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries
If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).
To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C) <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker. <signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

■ Exhibit D

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 3, 29 June 2007

Copyright (C) 2007 Free Software Foundation, Inc. <http://fsf.org/> Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.
This version of the GNU Lesser General Public License incorporates the terms and conditions of version 3 of the GNU General Public License, supplemented by the additional permissions listed below.
0. Additional Definitions.
As used herein, "this License" refers to version 3 of the GNU Lesser General Public License, and the "GNU GPL" refers to version 3 of the GNU General Public License.
"The Library" refers to a covered work governed by this License, other than an Application or a Combined Work as defined below.
An "Application" is any work that makes use of an interface provided by the Library, but which is not otherwise based on the Library. Defining a subclass of a class defined by the Library is deemed a mode of using an interface provided by the Library.
A "Combined Work" is a work produced by combining or linking an Application with the Library. The particular version of the Library with which the Combined Work was made is also called the "Linked Version".
The "Minimal Corresponding Source" for a Combined Work means the Corresponding Source for the Combined Work, excluding any source code for portions of the Combined Work that, considered in isolation, are based on the Application, and not on the Linked Version.
The "Corresponding Application Code" for a Combined Work means the object code and/or source code for the Application, including any data and utility programs needed for reproducing the Combined Work from the Application, but excluding the System Libraries of the Combined Work.
1. Exception to Section 3 of the GNU GPL.
You may convey a covered work under sections 3 and 4 of this License without being bound by section 3 of the GNU GPL.

計測ユニットのソフトウェアライセンス情報（つづき）

2. Conveying Modified Versions.
If you modify a copy of the Library, and, in your modifications, a facility refers to a function or data to be supplied by an Application that uses the facility (other than as an argument passed when the facility is invoked), then you may convey a copy of the modified version:

a) under this License, provided that you make a good faith effort to ensure that, in the event an Application does not supply the function or data, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful, or

b) under the GNU GPL, with none of the additional permissions of this License applicable to that copy.

3. Object Code Incorporating Material from Library Header Files.
The object code form of an Application may incorporate material from a header file that is part of the Library. You may convey such object code under terms of your choice, provided that, if the incorporated material is not limited to numerical parameters, data structure layouts and accessors, or small macros, inline functions and templates (ten or fewer lines in length), you do both of the following:

a) Give prominent notice with each copy of the object code that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

b) Accompany the object code with a copy of the GNU GPL and this license document.

4. Combined Works.
You may convey a Combined Work under terms of your choice that, taken together, effectively do not restrict modification of the portions of the Library contained in the Combined Work and reverse engineering for debugging such modifications, if you also do each of the following:

a) Give prominent notice with each copy of the Combined Work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

b) Accompany the Combined Work with a copy of the GNU GPL and this license document.

c) For a Combined Work that displays copyright notices during execution, include the copyright notice for the Library among these notices, as well as a reference directing the user to the copies of the GNU GPL and this license document.

d) Do one of the following:

0) Convey the Minimal Corresponding Source under the terms of this License, and the Corresponding Application Code in a form suitable for, and under terms that permit, the user to recombine or relink the Application with a modified version of the Linked Version to produce a modified Combined Work, in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.

1) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (a) uses at run time a copy of the Library already present on the user's computer system, and (b) will operate properly with a modified version of the Library that is interface-compatible with the Linked Version.

e) Provide Installation Information, but only if you would otherwise be required to provide such information under section 6 of the GNU GPL, and only to the extent that such information is necessary to install and execute a modified version of the Combined Work produced by recombining or relinking the Application with a modified version of the Linked Version. (If you use option 4d0, the Installation Information must accompany the Minimal Corresponding Source and Corresponding Application Code. If you use option 4d1, you must provide the Installation Information in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.)

5. Combined Libraries.
You may place library facilities that are a work based on the Library side by side in a single library together with other library facilities that are not Applications and are not covered by this License, and convey such a combined library under terms of your choice, if you do both of the following:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities, conveyed under the terms of this License.

b) Give prominent notice with the combined library that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

6. Revised Versions of the GNU Lesser General Public License.
The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Library as you received it specifies that a certain numbered version of the GNU Lesser General Public License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that published version or of any later version published by the Free Software Foundation.
If the Library as you received it does not specify a version number of the GNU Lesser General Public License, you may choose any version of the GNU Lesser General Public License ever published by the Free Software Foundation. If the Library as you received it specifies that a proxy can decide whether future versions of the GNU Lesser General Public License shall apply, that proxy's public statement of acceptance of any version is permanent authorization for you to choose that version for the Library.

■ Exhibit E

その他（GPLv2/v3,LGPLv2/v3 以外）の ライセンスについて

下記に記述するソフトウェアは、各著作権者およびコントリビューターによって「現状のまま」提供さ れており、明示黙示を問わず、商業的な使用可能性、および特定の目的に対する適合性に関する暗黙の 保証も含め、またそれに限定されない、いかなる保証もありません。 それぞれの著作権者もコントリ ビューターも、事由のいかんを問わず、損害発生の原因いかんを問わず、かつ責任の根拠が契約である か厳格責任であるか（過失その他の）不法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生する可能 性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した（代替品または代用サービスの 調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も含め、またそれに限定されない）直接損 害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害について、一切責任を負わない ものとします。

尚、それぞれの著作権表示及び詳細なライセンスについては下に示す URL より入手してください。

ソフトウェア名	URL
lighttpd	http://www.omron.co.jp/energy-innovation/kp-mu/EULA/lighttpd
openssl	http://www.omron.co.jp/energy-innovation/kp-mu/EULA/openssl
zlib	http://www.omron.co.jp/energy-innovation/kp-mu/EULA/zlib
wpa_supplicant	http://www.omron.co.jp/energy-innovation/kpmu1/EULA/ wpa_supplicant_and_hostapd
upnp	http://www.omron.co.jp/energy-innovation/kp-mu/EULA/upnp
hostapd	http://www.omron.co.jp/energy-innovation/kp-mu/EULA/wpa_supplicant_and_hostapd

（2015 年 10 月時点）

販売元

NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041　大阪府大阪市中央区北浜 1 丁目 1 番 30 号　リバービュー北浜 7F

06-6221-1234

お問い合わせ　support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

06-6221-0222

受付時間
10：00 ～ 18：00